

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 運動と健康 | | |
| 担当教員名 | 鈴木 康弘 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部（H）-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状（福祉） / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

本科目は、教育職員免許法施行規則第66条の6に定められた科目の一つであり、幼稚園教諭免許や保育士資格の取得を目指す学生には単位の修得が義務づけられているものです。授業では、現代社会が抱える様々な「健康」にまつわる課題と運動との関係について講義します。健康にまつわる課題について、社会学的、神経生理学的な理解を深め、自身の健康と運動の関係をより深いレベルと広い視野で捉えなおすことが本授業の目的となります。

具体的な学修目標は次の2点です。 現代社会の「健康」にまつわる課題について、社会学的、神経生理学的な視点を深める 「運動」がどのようなメカニズムで「健康」問題の改善に寄与しているのか（できる可能性があるのか）について理解する。

内容

| | |
|----|---------------------------|
| 1 | 健康とは何か？～現代社会と健康～ |
| 2 | 自己実現と健康～ギブ・キッズ・ザ・ワールドに学ぶ～ |
| 3 | 自己実現と欲求不満耐性 |
| 4 | 現代社会とうつ病 ～うつ病の症状～ |
| 5 | 現代社会とうつ病 ～うつ病のメカニズムとその予防～ |
| 6 | 心はどこにあるのか～脳科学の視点より～ |
| 7 | 授業のまとめ（前半） |
| 8 | 健康を脅かす誘惑 ～ドラッグ～ |
| 9 | 健康を脅かす誘惑 ～アルコールへの依存～ |
| 10 | 健康を脅かす誘惑 ～COPDの恐怖～ |
| 11 | 医薬品と健康 |
| 12 | 食と健康 |
| 13 | 放射能と健康 |
| 14 | 再生医療と健康 |
| 15 | 授業のまとめ（後半） |

評価

授業態度（20点）、授業毎の小レポート（40点）、まとめのレポート（40点）により評価を行い、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書・テキストは使用しません。授業時に資料を配布します。

| | | | |
|---------|-------------------------|---------|---|
| 科目名 | イギリス文化研究 | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 0 |
| 資 格 関 係 | 幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目の選択科目で、夏期休暇中の集中講義として開講されます。

イギリスの提携校イースト・アングリア大学(The University of East Anglia)で約2週間の英語研修を受講するとともに、一家庭一名のホームステイによって、イギリスの生活と文化をじかに体験します。

現地到着時に行われるプレイスメントテストの結果により、各自の習熟度にあったクラスで、本学以外の様々な国の学生とともに双方向の授業に参加し、英語コミュニケーション能力を伸ばします。また、ステイ先の人々と英語でコミュニケーションをとらなければならない状況に身を置いて英語に浸ります。

内容

- 英語研修：午前中3時間、英会話だけでなく、プレゼンテーションなどのプロダクション活動を含めた授業が行われます。その他イースト・アングリア大学が企画する市内の課外活動や、日帰りの小旅行（イギリス王室の別荘の大邸宅への旅行）などが予定されています。これらの活動を通して英語力を伸ばします。
- 文化体験：イースト・アングリア大学は創立1963年、学生数14,000人以上、留学生は2,000人以上です。同大学のあるノリッジ市は、ロンドンから列車で2時間ほど行った北東に位置し、ノーフォク(Norfolk)の中心都市（人口12万人以上）です。ノリッジは歴史的な建物が数多く存在し、街の散策が大変興味深い古都です。また、近隣の地域は保養地としても有名です。
- 研修期間：8月上旬から9月上旬の間の約3週間での実施を予定しています。期間中にはロンドンでの観光や自由行動も含まれています。
- 宿泊先：ホームステイ先は、イースト・アングリア大学が選んだ家庭の中から、アンケートへの参加学生の回答などに基づいてマッチングを行います。
- 引率者：本学の教職員が担当します。

評価

イースト・アングリア大学の担当教員による成績を60点、ホームステイ先での日常の努力などに関する引率教員の評価を40点として、合計60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

イースト・アングリア大学から提供されます。

| | | | |
|---------|----------------|---------|----|
| 科目名 | 哲学 | | |
| 担当教員名 | 田子山 和歌子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1) 科目の性格 哲学史(哲学の歴史)を自分で構築するユニークな授業です。
- 2) 科目の概要 西洋哲学史について書かれた複数の高校倫理の教科書を、2,3人のスモールグループで読みくらべ、それぞれの教科書でどのような理解が目指されているかを学びます。次に、哲学者自身の手による哲学的著作(テキスト)を実際に読み、教科書群で語られた内容と比較します。こうした作業から、どのような哲学史理解が得られるかをグループで話し合います。
- 3) 学修目標 哲学史の学習は、しばしば受動的なものとしてとらえがちです。しかし、哲学史の教科書を複数比較すると、同一事項に関しても、様々な記述がなされていることに気づかされます。こうした比較を通して、哲学史を客観的に見る練習をしたいと思います。また、教科書の比較をたたき台にすることで、一見難しいように思われる哲学者の書いた著作にも、興味を持って接することができます。できるだけ、哲学を身近に感じるようにできることが、この授業の目標です。

| 内容 | |
|----|--------------------------|
| 1 | ガイダンス |
| 2 | 実際に哲学の教科書を読んでみる。デカルト1 |
| 3 | デカルト2 |
| 4 | スピノザ、マルブランシュ、ライプニッツ1 |
| 5 | スピノザ、マルブランシュ、ライプニッツ2 |
| 6 | ギリシャ哲学1 |
| 7 | ギリシャ哲学2 |
| 8 | ギリシャ哲学3 |
| 9 | キリスト教、ユダヤ教1 |
| 10 | キリスト教、ユダヤ教2 |
| 11 | キリスト教、ユダヤ教3 |
| 12 | 中世哲学 トマス・アクイナス、アウグスティヌス1 |
| 13 | 中世哲学 トマス・アクイナス、アウグスティヌス2 |
| 14 | 中世哲学 トマス・アクイナス、アウグスティヌス3 |
| 15 | 現代へ カント、ヘーゲル |

評価

平常点、最終期末試験から成績を評価する。平常点(授業への参加度)を50点、期末試験を50点、計100点として、評価を行う。授業の形式上、出席重視の授業なので、毎回出席してほしい。欠席が著しく目立つ場合は最終試験を受ける資格はないものと判断する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

毎回プリントを配布します。

| | | | |
|---------|----------------|---------|-------|
| 科目名 | 音楽 | | |
| 担当教員名 | 清水 玲子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

音を楽しむことを知り、音楽の役割を広い意味で捉えられるようにすることが本講座のねらいです。クラシック音楽から身の回りにある音楽まであらゆるジャンルの音楽(例えば幼児期に聞いたことのある童謡やテレビの主題歌、学校教育の中で学んだ音楽、自分が興味を持って好んで聴く音楽など)を取り上げて、自分の中の音楽文化がどのように育ったかを認識します。そして音楽を通しての情操教育の大切さを確認し、これから自分と音楽とがどのようにして関わっていくかを考えます。さらに音楽を日常生活に上手にとり入れていく方法、音楽と心の関係、現代社会のストレス解消など生涯学習としての音楽の役割も考察します。

内容

主に音楽鑑賞や簡単な実技・講義形態をとる。

- (1)「自分を取りまく音楽」について
- (2)「映像と音楽」の関係 - ディズニー - の世界
- (3)「映像と音楽」の関係 - ジブリの世界 -
- (4)合わせる楽しさの音楽について(コーラスやアンサンブルの楽しさを知る)
- (5)自分の中にある音楽文化の認識
- (6)「日本のこどもの歌」の歴史について(童謡・小学校時代の歌)
- (7)「世界のこどもの歌」について
- (8)作曲について
- (9)編曲について
- (10)クラシック音楽について(背景文化との比較)
- (11)楽器について
- (12)オーケストラと指揮者について
- (13)ミュージカル音楽について - オペラからの歴史 -
- (14)ミュージカル音楽について - 場面と音楽の関係 -
- (15)まとめ

評価

毎時間提出のレポート(50%)、授業への参加度(50%)で、三分の二以上の出席することで評価を受けることができる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、テキスト・プリントCDを使用し、授業で紹介していく。

| | | | |
|---------|----------------|---------|-------|
| 科目名 | 音楽 | | |
| 担当教員名 | 清水 玲子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

音を楽しむことを知り、音楽の役割を広い意味で捉えられるようにすることが本講座のねらいです。クラシック音楽から身の回りにある音楽まであらゆるジャンルの音楽(例えば幼児期に聞いたことのある童謡やテレビの主題歌、学校教育の中で学んだ音楽、自分が興味を持って好んで聴く音楽など)を取り上げて、自分の中の音楽文化がどのように育ったかを認識します。そして音楽を通しての情操教育の大切さを確認し、これから自分と音楽とがどのようにして関わっていくかを考えます。さらに音楽を日常生活に上手にとり入れていく方法、音楽と心の関係、現代社会のストレス解消など生涯学習としての音楽の役割も考察します。

内容

主に音楽鑑賞や簡単な実技・講義形態をとる。

- (1)「自分を取りまく音楽」について
- (2)「映像と音楽」の関係 - ディズニー - の世界
- (3)「映像と音楽」の関係 - ジブリの世界 -
- (4)合わせる楽しさの音楽について(コーラスやアンサンブルの楽しさを知る)
- (5)自分の中にある音楽文化の認識
- (6)「日本のこどもの歌」の歴史について(童謡・小学校時代の歌)
- (7)「世界のこどもの歌」について
- (8)作曲について
- (9)編曲について
- (10)クラシック音楽について(背景文化との比較)
- (11)楽器について
- (12)オーケストラと指揮者について
- (13)ミュージカル音楽について - オペラからの歴史 -
- (14)ミュージカル音楽について - 場面と音楽の関係 -
- (15)まとめ

評価

毎時間提出のレポート(50%)、授業への参加度(50%)で、三分の二以上の出席することで評価を受けることができる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、テキスト・プリントCDを使用し、授業で紹介していく。

| | | | |
|---------|----------------|---------|-------|
| 科目名 | 美術 | | |
| 担当教員名 | 平田 智久 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

美術の歴史は、人間の歴史と共に古い。

美術には、もともと人間の一番大切なものを伝えたり、表したりする力がある。わたしたちの目の前のものを伝えるだけでなく、見知らぬ遠い国のことや、目に見えない奥深い心の世界などを出現させることもできる。主に視覚や触覚を通して“もの”に関わり、感じ考え心を表したりする造形行動は、生活をより豊かにする営みであるばかりでなく、人間同士理解し合える手段として欠かせない行動のひとつである。

そうした人間にとって重要な生きる手段としての造形を、どのようにすれば身につけていけるだろうか。ともすると造形嫌いになったり、造形行動に無関心になっている学生に、造形行動の大切さや楽しさを体中の感覚を駆使して再認識してもらうことが第一のねらいである。

そのねらいが達成されることで、自己の感性を再認識し自己の価値観を多様にする。

目に見えない心の言葉を表しているといってもよいだろう。

様々な美術の歴史や、あり方を理解することにより、より一層わたしたちの生活を豊かなものにし、更に創造力を高めることができる。

内容

大人になると、すでに造形的な価値観も獲得しているが、いわゆる上手下手という狭義の結果論がその価値基準になっていることが多い。造形的行為や行動、造形表現の技術などは、“もの”との直接体験からの感受習得が望ましい。美術の歴史は、紀元前の洞窟の絵画からはじまったといわれている。様々な表現の歴史を探ることによって、人にはなぜ美術が必要なのか?を、講義と実技を通して理解を深めていく。

1. 、プロローグ
2. 、感覚への刺激1
3. 感覚への刺激2
4. 感覚への刺激3
5. 感覚への刺激4
6. 感覚への刺激5
7. 感覚への刺激6
8. 感覚への刺激7
9. 、イメージの拡大・拡散1
10. イメージの拡大・拡散2
11. イメージの拡大・拡散3
12. イメージの拡大・拡散4
13. 、美術史の新しい視点
14. 、美術史の新しい視点
15. 、エピローグ

評価

授業中の製作態度 40% 課題作品の成果 60% を総合して評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。授業の中で紹介していく。

| | | | |
|---------|----------------|---------|-------|
| 科目名 | 美術 | | |
| 担当教員名 | 平田 智久 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部（H）-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

美術の歴史は、人間の歴史と共に古い。

美術には、もともと人間の一番大切なものを伝えたり、表したりする力がある。わたしたちの目の前のものを伝えるだけでなく、見知らぬ遠い国のことや、目に見えない奥深い心の世界などを出現させることもできる。主に視覚や触覚を通して“もの”に関わり、感じ考え心を表したりする造形行動は、生活をより豊かにする営みであるばかりでなく、人間同士理解し合える手段として欠かせない行動のひとつである。

科目の概要

そうした人間にとって重要な生きる手段としての造形を、どのようにすれば身につけていけるだろうか。ともすると造形嫌いになったり、造形行動に無関心になっている学生に、造形行動の大切さや楽しさを体中の感覚を駆使して再認識してもらうことが第一のねらいである。

学修目標

そのねらいが達成されることで、自己の感性を再認識し自己の価値観を多様にする。

目に見えない心の言葉を表しているといってもよいだろう。様々な美術の歴史や、あり方を理解することにより、より一層わたしたちの生活を豊かなものにし、更に創造力を高めることができる。

内容

大人になると、すでに造形的な価値観も獲得しているが、いわゆる上手下手という狭義の結果論がその価値基準になっていることが多い。造形的行為や行動、造形表現の技術などは、“もの”との直接体験からの感受習得が望ましい。美術の歴史は、紀元前の洞窟の絵画からはじまったといわれている。様々な表現の歴史を探ることによって、人にはなぜ美術が必要なのか？を、講義と実技を通して理解を深めていく。

1. 、プロローグ
2. 、感覚への刺激1
3. 感覚への刺激2
4. 感覚への刺激3
5. 感覚への刺激4
6. 感覚への刺激5
7. 感覚への刺激6
8. 感覚への刺激7
9. 、イメージの拡大・拡散1
10. イメージの拡大・拡散2
11. イメージの拡大・拡散3
12. イメージの拡大・拡散4
13. 、美術史の新しい視点
14. 、美術史の新しい視点

15. 、エピローグ

評価

授業中の製作態度 40% 課題作品の成果 60% を総合して評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。授業の中で紹介していく。

| | | | |
|---------|----------------|---------|-------|
| 科目名 | 現代文化論 | | |
| 担当教員名 | マブソン ローラン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

今日の日本文化は、従来の「和」の文化(主に近世日本の文化)と西洋的文化(明治期、そして戦後に受容・変容された諸外国の文化)の狭間において、新しい“近代性”を創ろうとしているのであろう。さまざまな分野で、“新・和洋折衷”と呼べる姿勢がみられるようになったが、“自我の目覚め”としての“近代性”は必ずしも西洋文化側にあるのではなく、近世日本の文化においても斬新な視点があり、そこにこそ現代日本の重要な“文化的資源”が潜んでいると考えられるのである。そんな“新・和洋折衷”の可能性を、フランス人の日本学者である担当教員と共に追究してゆく。

内容

エッセイ「マブソン青眼句日記」(角川書店刊行『一茶とワイン』所収)に基づいて、授業ごとに新しい問題を提起し、他の論文や記事を配り、テーマについて考察してゆく。

1: 序説、「余情的文化」と「抒情的文化」の相違について・「連句的文化」としての「日本」(海外の日本文化論の視点から) 2: 近代性とは何か?日本における「夢」と「笑い」の歴史(ベルクソン理論) 3: 身分制度と男女権利の歴史(日本とヨーロッパの比較) 4: ジェンダー論・フランスにおけるフェミニズムの歴史(G・サンド評伝を手掛りに) 5: 二十世紀における文学のグローバル化再考(P・クローデルと日本を中心に) 6: 言語の根源にあるもの(日本語の音韻的な特徴の再認識)・日本語に導かれた世界観(日本文化における「音」について) 7: 日本文化におけるアニミズムの感性と現代におけるエコロジーの問題 8: 日本文化における「香・匂」(フランスとの比較) 9: 日本文化における時間意識(近代西洋と中世アラブ文化圏との比較) 10: 「エスプリ」と「笑い」の違いについて 11・12: 英語文化圏とラテン系文化圏の基本的な相違について・日本の位置付け(「美」のカノン化、「グローバル」と「ローカル」の関わり方など) 13・14: 日本と西欧の比較芸術論(詩歌、葡萄酒、その他) 15: まとめ

評価

扱った授業内容に基づくレポート(小論文)を課す。テーマの扱い方、構成(起承転結、論理性)、独創性を総合的に評価する。合格は100点満点のうち60点以上とする。出席は3分の2を必要とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】マブソン青眼著『一茶とワイン ふらんす流俳諧の楽しみ』(角川書店・2006)

【参考図書】マブソン青眼著『江戸のエコロジスト一茶』(角川書店・2010)

マブソン・ローラン著『詩としての俳諧・俳諧としての詩』(永田書房・2005)

その他、必要に応じて授業で紹介する。

| | | | |
|---------|----------------|---------|-------|
| 科目名 | 現代文化論 | | |
| 担当教員名 | 大原 知子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

私たちの生きている世界をどう「解釈」するのかということに観点を当てて授業をおこなっていきます。いつの時代でも人々は常にこのように思い、あれこれ考えてきました。何しろ、「バベルの塔が崩れてしまい、私たち人間界の言葉や住む場所はみな散り散りになってしまったのだから」「けれど、神さまは私たちに世界の秘密を解く鍵を、何か印として残して行って下さったに違いない」

このように提起された、ミッシェル・フーコーの書、「言葉と物」を通して、中世ヨーロッパから現代までの知識や学問の成り立ち、文化の歴史の跡を辿ります。フーコーによると、学問でも思想でも流れは進歩を表す垂直線でつながったものではなく、不連続だということです。授業では、フーコーの「混在郷」の考えを枠組みにして、現代社会や文化の中で密かに、けれど形を変えて光を放っている遠い昔の習慣や、異郷の考えの足跡をセルバンテスの作品「ドンキホーテ」を通して辿っていきます。また、宮崎駿の「もののけ姫」の鑑賞を通して日本の古代、中世の歴史や神話の意味と、とりわけ環境問題について考えていきます。

内容

1. 冒険と魔法の世界 「もののけ姫」を見ながら、その神話的意味を探り、環境問題を考える
2. 世界と記号 記号学からの観点：「ドン・キホーテ」をミッシェル・フーコーの著作「言葉と物」を参考に解説していきます。
3. 現代社会と精神分析

| | |
|----|---|
| 1 | ヨーロッパの歴史 ミッシェル・フーコーの言葉と物 バベルの塔(旧約聖書) |
| 2 | ヨーロッパの中世 デュビュのヨーロッパの中世 カテドラルについて ゴフの中世とは何か |
| 3 | 日本の歴史 古事記の中から 中世 鍛冶の歴史 たたら場 |
| 4 | 宮崎駿 もののけ姫 日本書紀 |
| 5 | 宮崎駿 もののけ姫 日本書紀 製鉄の歴史と環境問題 |
| 6 | ヨーロッパのルネッサンスと近代 「鍛冶師と錬金術師」エリアーデ |
| 7 | ミッシェル・フーコーの混在郷の考え方とセルバンテスのドンキホーテ |
| 8 | ドンキホーテと現代 |
| 9 | 精神分析について 意識と無意識の世界 S・フロイト、M・クライン、D・W・ウィニコット |
| 10 | 精神分析について 夢の解釈 アイデンティティと男性性女性性の問題 |
| 11 | ボヘミアの醜聞 アイデンティティと仮装について |
| 12 | 精神分析について ジャック・ラカンのセミネール8 転移と愛の問題 |
| 13 | ジャック・ラカン プラトンの饗宴とソクラテスの無知の知・ディオチマの神話 |
| 14 | ドナルド・W・ウィニコットの精神分析について |
| 15 | まとめ |

評価

小テスト15~20% + レポート(または口頭発表) 80~85%

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書はなし。参考文献のリストは授業の最初に配布 心理学、哲学、言語学からの用語は授業で説明。

| | | | |
|---------|----------------|---------|----|
| 科目名 | 文化人類学 | | |
| 担当教員名 | 井口 欣也 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通教育科目

科目の概要

文化人類学の視点と方法により、人類の多様な文化と社会の事例を材料として、人間について深く考える。とりわけこの授業では、文化人類学の基本的な考え方について理解することを目指す。

学修目標

1. 文化人類学の視点から具体的な事例を分析することによって、社会と文化の多様性を理解する。
2. 文化人類学の専門的な概念や理論を習得する。
3. 上記のことを通じて、自分の属する社会についての理解を深める。

内容

| | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | ガイダンス：講義の概要と目的等についての説明 |
| 2 | 文化人類学と「文化」：文化人類学は文化をどのように扱うのか？ |
| 3 | 文化人類学と文化相対主義：文化人類学の基盤となる文化への視点とは？ |
| 4 | 文化人類学とフィールドワーク：文化人類学を特徴づける調査方法とは？ |
| 5 | 父親と母親：「親子の関係」は自然で普遍的なものか？ |
| 6 | 子どもと大人：人は大人に「成長」するのか？「変身」するのか？ |
| 7 | 女と男：女と男はどのように違うのか？あるいは、本当に「違う」のか？ |
| 8 | 結婚とは何か？：普遍性と多様性をあわせもつ複雑な制度がもつ意味は？ |
| 9 | 歴史とは何か：ケネディ大統領は本当にアボリジニを激励しにやってきたのか？ |
| 10 | 交換と社会：人間は何のために、どのように交換するのか？ |
| 11 | 交換と社会：贈り物が「つらくてもやめられない」のはなぜか？ |
| 12 | 交換と社会：「贈り物」と「お返し」がもつ威力とはなにか？ |
| 13 | 文明の探求と文化人類学：南米アンデスの神殿発掘と黄金の墓 |
| 14 | 文明の探求と文化人類学：古代の神殿は現代とどのように関わるのか？ |
| 15 | 講義のまとめ - 文化人類学の知をどのように活かせるのか？ |

評価

中間レポート50%、試験を50%として100点満点で評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は特に指定しない。講義の理解を深めたり発展的な勉強・研究に役立つ本については、毎回の授業で配布するプリントで紹介する。

| | | | |
|---------|--|---------|---------|
| 科目名 | 日本国憲法 | | |
| 担当教員名 | 片居木 英人 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択, 必修* |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

- この科目は、人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解していくところにねらいがある。
- 講義では、国際女性年及び国連女性の10年が掲げた「平和・平等・発展」という理念から、またジェンダーに敏感な視点と定着の進化を目ざし、国内外で生起する人権問題や憲法政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく。
- 学修目標は、憲法への問題意識をもって、主権者の一人として市民生活を営んでいくために必要な認識力・考察力・判断力を獲得していく点にある。

内容

授業計画

- 第1回：憲法を学ぶにあたって
- 第2回：憲法の成立過程
- 第3回：憲法に結実している思想、基本的人権の構造と展開
- 第4回：個人としての尊重、幸福追求権、自己決定権
- 第5回：人間らしく生きる権利、生存権、教育を受ける権利
- 第6回：健康権、環境権
- 第7回：政治と憲法（国民主権、象徴天皇制、選挙）
- 第8回：政治と憲法（国会、内閣、地方自治）
- 第9回：平和保障と憲法（憲法と日米安全保障条約）
- 第10回：平和保障と憲法（グローバリゼーションと国際貢献の在り方）
- 第11回：裁判と憲法（裁判を受ける権利）
- 第12回：裁判と憲法（違憲立法審査権）
- 第13回：憲法改正論の論点整理（現状と課題）
- 第14回：主権者教育としての憲法教育の意味
- 第15回：全体のまとめ

評価

中間課題レポート40点、筆記試験60点により評価を行う。合格点に満たない場合、再レポートを提出してもらう。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】伊藤真『伊藤真の日本一わかりやすい憲法入門』中経出版

【参考書】参考書及び推薦書に関しては、授業時、必要に応じて紹介する。

| | | | |
|---------|--|---------|---------|
| 科目名 | 日本国憲法 | | |
| 担当教員名 | 内野 伸之 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 1Bクラス |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択, 必修* |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

憲法は国家の法体系の基礎となる法規で、国の権力構造や国民の権利・義務を左右する法であるので、この国で暮らす全ての人にとってその内容を知ることは必要なことと思われる。

この授業では日本国憲法の構造とそれを支える基本原理を明らかにし、その原理の具体化である各規定の意義を考える。その上で憲法が、われわれの日常生活のなかで生起する諸問題にどのように作用しているのかを知るために、判例などを参照してその実像を明らかにする。

学習目標としては、(1)基本原理を理解する、(2)基本原理と各条文との関係を理解する、(3)憲法に対する考え方は一つではなく、いろいろな考え方があることを理解する、(4)判例の果たす役割を理解する。

内容

| | |
|----|----------------------|
| 1 | 憲法の構造(前文、人権、統治機構) |
| 2 | 人権と公共の福祉 |
| 3 | 包括的人権 (1)プライバシー権 |
| 4 | 同 上 (2)肖像権 |
| 5 | 同 上 (3)環境権 |
| 6 | 平等権 (1)平等思想の展開 |
| 7 | 同 上 (2)日本国憲法における平等原則 |
| 8 | 受益権 |
| 9 | 人身の自由 |
| 10 | 思想良心の自由と憲法上の位置づけ |
| 11 | 信教の自由 (1)信仰の自由 |
| 12 | 同 上 (2)政教分離 |
| 13 | 表現の自由 |
| 14 | 社会権とその種類 |
| 15 | まとめ |

評価

前半終了時の小レポート(20%)と最終の筆記試験(80%)で評価、60点以上合格

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用せず

【推薦書】芦部信喜(高橋和之・補訂)『憲法(第4版)』岩波書店

小嶋和司・大石 真『憲法概観(第6版)』有斐閣

齊藤静敬『憲法要説』成文堂

| | | | |
|---------|---|---------|---------|
| 科目名 | 日本国憲法 | | |
| 担当教員名 | 片居木 英人 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部（H）-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択, 必修* |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状（福祉） / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解していくところにねらいがある。

講義では、国際女性年及び国連女性の10年が掲げた「平和・平等・発展」という理念から、またジェンダーに敏感な視点と定着の進化を目ざし、国内外で生起する人権問題や憲法政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく。

学修目標は、憲法への問題意識をもって、主権者の一人として市民生活を営んでいくために必要な認識力・考察力・判断力を獲得していく点にある。

内容

授業計画

第1回：憲法を学ぶにあたって

第2回：憲法の成立過程

第3回：憲法に結実している思想、基本的人権の構造と展開

第4回：個人としての尊重、幸福追求権、自己決定権

第5回：人間らしく生きる権利、生存権、教育を受ける権利

第6回：健康権、環境権

第7回：政治と憲法（国民主権、象徴天皇制、選挙）

第8回：政治と憲法（国会、内閣、地方自治）

第9回：平和保障と憲法（憲法と日米安全保障条約）

第10回：平和保障と憲法（グローバル化と国際貢献の在り方）

第11回：裁判と憲法（裁判を受ける権利）

第12回：裁判と憲法（違憲立法審査権）

第13回：憲法改正論の論点整理（現状と課題）

第14回：主権者教育としての憲法教育の意味

第15回：全体のまとめ

評価

中間課題レポート40点、筆記試験60点により評価を行う。合格点に満たない場合、再レポートを提出してもらう。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】伊藤真『伊藤真の日本一わかりやすい憲法入門』中経出版

【参考書】参考書及び推薦書については、授業時、必要に応じて紹介する。

| | | | |
|---------|--|---------|--------|
| 科目名 | 日本国憲法 | | |
| 担当教員名 | 内野 伸之 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Bクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修*,選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

憲法は国家の法体系の基礎となる法規で、国の権力構造や国民の権利・義務を左右する法であるので、この国で暮らす全ての人にとってその内容を知ることは必要なことと思われる。

この授業では日本国憲法の構造とそれを支える基本原理を明らかにし、その原理の具体化である各規定の意義を考える。その上で憲法が、われわれの日常生活のなかで生起する諸問題にどのように作用しているのかを知るために、判例などを参照してその実像を明らかにする。

学習目標としては、(1)基本原理を理解する、(2)基本原理と各条文との関係を理解する、(3)憲法に対する考え方は一つではなく、いろいろな考え方があることを理解する、(4)判例の果たす役割を理解する。

内容

| | |
|----|----------------------|
| 1 | 憲法の構造(前文、人権、統治機構) |
| 2 | 人権と公共の福祉 |
| 3 | 包括的人権 (1)プライバシー権 |
| 4 | 同 上 (2)肖像権 |
| 5 | 同 上 (3)環境権 |
| 6 | 平等権 (1)平等思想の展開 |
| 7 | 同 上 (2)日本国憲法における平等原則 |
| 8 | 受益権 |
| 9 | 人身の自由 |
| 10 | 思想良心の自由と憲法上の位置づけ |
| 11 | 信教の自由 (1)信仰の自由 |
| 12 | 同 上 (2)政経分離 |
| 13 | 表現の自由 |
| 14 | 社会権とその種類 |
| 15 | まとめ |

評価

前半終了時の小レポート(20%)と最終の筆記試験(80%)で評価、60点以上合格

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用せず

【推薦書】芦部信喜(高橋和之・補訂) 『憲法(第4版)』岩波書店

小嶋和司・大石 真 『憲法概観(第6版)』有斐閣

齊藤静敬 『憲法要説』成文堂

| | | | |
|---------|----------------|---------|----|
| 科目名 | 法律学基礎 | | |
| 担当教員名 | 阿部 史 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

法学の入門的な位置付けとなります。

科目の概要：

社会に生きる人は、日常、意識するしないを問わず、国民として、家族の一員として、個人として、また消費者として様々な立場で法と関わっています。この「法」とは一体どのようなものなのでしょうか。また、法的なトラブルに遭遇しないためには法律を知る必要があるという一方、法的なトラブルに遭遇してしまったときにはどうすればよいかという問題も生じます。そのために、法をめぐり、どのような法律や制度が存在するのかについて学びます。また主要な法律を概観します。

科目の目的：

法学入門として基礎的な知識の理解を図るとともに、現代社会に特徴的な法的問題への理解を深めることを目的とします。

内容

| | | |
|----|--------------|-------------------|
| 1 | 法とは何か | |
| 2 | 法曹 | 法律家の種類と仕事 |
| 3 | 法曹 | 法曹養成制度 |
| 4 | 法の種類 | |
| 5 | 紛争解決と法 | 裁判制度・代替的紛争解決(ADR) |
| 6 | 紛争解決と法 | 裁判員制度の現状と課題 |
| 7 | 国家と法： | 憲法 |
| 8 | 日常生活と契約： | 民法(契約法) |
| 9 | 日常生活とアクシデント： | 民法、消費者法ほか |
| 10 | 家族関係と法： | 民法(家族法) |
| 11 | 労働と法： | 労働法 |
| 12 | 企業と法： | 会社法 |
| 13 | 現代社会と法 | |
| 14 | 国際社会と法 | |
| 15 | 総括 | |

評価

レポート等提出物・授業態度(40%)・ペーパーテスト(60%)を総合して評価します。100点満点中60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書・テキスト】

『法の世界へ[第5版]』 池田真朗・犬伏由子他著 (有斐閣アルマ)

『デイリー六法』（三省堂）

| | | | |
|---------|----------------|---------|----|
| 科目名 | 社会学基礎 | | |
| 担当教員名 | 斉川 富夫 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

- (1) 社会学とはどのような学問なのか、その基礎的理解に努める。そのためにも、社会学の基礎的概念(社会学の言葉)を使って社会の諸問題をどのように把握・説明できるのか、少しでも実感的に理解してもらおう。
- (2) 現代社会の変動—特に地域と家族の変容について基礎的な理解をめざす。
- (3) 現代人の生き方とその基礎にある価値観について考えてみる。理論的には、社会学に社会哲学・社会思想の基礎的知見を導入して、より広い視野で問題を考えてみる。

内容

| | |
|----|---------------------------|
| 1 | 社会的行為 |
| 2 | 欲求と価値 |
| 3 | 家族の基礎概念 |
| 4 | 近代家族としての核家族 |
| 5 | 家族の変貌と今日的課題 |
| 6 | 地域の社会学—特に都市の社会学 |
| 7 | 組織の社会学—組織と個人 |
| 8 | 近代化の社会学 |
| 9 | 啓蒙思想から功利主義へ |
| 10 | 自由主義と共同体主義 |
| 11 | 社会主義と福祉国家 |
| 12 | グローバル経済と困難な福祉国家 |
| 13 | 近代化の帰結と近代性への懐疑 |
| 14 | 自然と人間の再生を求めて |
| 15 | まとめ—近代を越える? せめて近代うい相対化する。 |

評価

- ・試験に70%、授業態度(授業に対する意欲など)に30%を配点。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 第一に 森岡清美・望月嵩『新しい家族社会学 四訂版』培風館をテキストとして挙げる。
その他、随時参考文献を授業の中で紹介する。

| | | | |
|---------|----------------|---------|-------|
| 科目名 | 経営経済学基礎 | | |
| 担当教員名 | 込江 雅彦、狩野 浩二 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、学生の皆さんの自主的な学習態度を形成すること、自ら学び、自ら表現する学生を育てることを目指しています。様々な分野の学生たちがともに学ぶことにより、人間的な交流のすばらしさを実感してもらいたいと思っています。

新座市に住んでいらっしゃる皆さんをゲストとしてお招きし、お話を伺う前半と、受講生同士がグループを作って、プロジェクト研究をする後半とで構成します。後半は、グループでのプロジェクト研究の成果を発表する機会をつくります。

受講生同士が人間的な交流を深めること、新座について疑問に思ったことを課題として、グループごとに研究を深め、発表すること、学生としての研究的な態度を身につけることなどが目標です。

内容

平成23(2011)年度入学生用【共通教育】[十文字学]「新座から学ぶ」と同時に開講します。

大学が立地する埼玉県新座市を教材とし、プロジェクト研究を行います。

講義の前半部分では、新座市内でご活躍になっている方々に来ていただき、さまざまな角度からお話を伺います。

来ていただくゲストの方については、講義中にお話しします。

これまで来てくださった方は、次のような皆さんです。

新座市内で農業に従事されている女性。新座の畑作を中心に。

新座市教育委員会学芸員。主として新座の歴史、文化について話していただきました。

新座市商工会の事務局長。新座の商工業について。

新座市町内会長。新座の町づくり、市民独自の活動について。

新座子育てネットワーク代表。新座の子育て支援について。

新座の神楽。神楽の伝承について。

中盤からは、グループごとに新座についての疑問点、研究課題を決めて活動します。

4名程度のグループを無作為に作って、活動します。

後半では、グループごとのプロジェクト研究結果の発表会を行います。

グループ内のメンバーで協力し、新座市に対しての提言をまとめてもらいます。

学生の皆さんが、新鮮な目で新座市を眺め、課題を発見し、その解決方法を提案します。

発表会では、前半部分でゲストとしてきていただいた方にも参加していただく予定です。

みなさんは、新座を覗き窓にして、日本や世界、宇宙へとひろがる課題を発見し、研究することになります。

仲間とともに楽しい勉強空間を創り上げましょう。

評価

グループごとの取り組み（2割）や毎回提出してもらったミニレポート（2割）、最終発表の内容（6割）を総合して評価します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用しません。

推薦書は適宜講義中に説明します。

| | | | |
|---------|----------------|---------|-------|
| 科目名 | 経営経済学基礎 | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、学生の皆さんの自主的な学習態度を形成すること、自ら学び、自ら表現する学生を育てることを目指しています。様々な分野の学生たちがともに学ぶことにより、人間的な交流のすばらしさを実感してもらいたいと思っています。大学が立地する埼玉県新座市を教材とし、プロジェクト研究を行います。

受講生同士がグループを作って、サツマイモプロジェクトを行います。サツマイモの収穫から、商品開発、販売等々をこの科目の参加者で取り組んでいきます。

受講生同士が人間的な交流を深めること、新座産のさつまいもを使って社会貢献をすることが目標です。

内容

【留意点】

平成22(2010)年度以前に入学した学生は、「経営経済学基礎」として受講することが出来ます。

平成23(2011)年度以降入学した学生は、十文字学(共通教育)「新座から学ぶ」として履修登録します。

| | |
|----|---------------|
| 1 | ガイダンス |
| 2 | 全体計画の作成 |
| 3 | 昨年度の取り組みの報告 |
| 4 | 今年度の計画作成 |
| 5 | 製品作成手順の確認 |
| 6 | 収穫祭の計画立案 |
| 7 | 収穫祭の振り返り |
| 8 | オープンカフェの計画立案 |
| 9 | オープンカフェの振り返り |
| 10 | 駅からハイキングの計画立案 |
| 11 | 駅からハイキングの振り返り |
| 12 | 各グループでの報告会1 |
| 13 | 各グループでの報告会2 |
| 14 | 全体での発表 |
| 15 | 活動のまとめ |

評価

グループごとの取り組み(2割)や提出してもらったミニレポート(2割)、最終発表の内容(6割)を総合して評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しません。

推薦書は適宜講義中に説明します。

| | | | |
|---------|----------------|---------|-------|
| 科目名 | 生物学 | | |
| 担当教員名 | 津吹 卓 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生き物が「生きている」とはどういうことなのかを、虫を半日、動物を1日観察し続けることで、生き物の立場に立って考え、体感する。それを通じてヒトはどのように生きているのか、どのように生きるのが良いのかを体感を通して気づく。自ら動き、考え、その中で自ら気づき学ぶ授業である。

1. これまでの体験から、真夏の野外観察はハードであり、途中リタイアした者もいる。厳しさを覚悟して体調を整えておくこと。

2. 初日、2日目、3日目と内容を積み重ねていくので、1日でも休むと授業は成り立たない。集中講義なので、単位を取る人は3日間を体験的に楽しみながら、頑張してほしい。

科目の概要

班でキャンパスの原っぱや雑木林で、決めた昆虫を観察しながら「虫の気持ち」を考えることで、虫の生き様を体感する。同様に動物園でも決まった動物を見続けることで、ヒトとの違いや共通点を動物から学ぶ。内容を班でまとめ発表し、質疑応答を行う。

学修目標

1. 生き物が生きているとはどのようなことかを、体験的に生き物から学ぶ。これが中心。
2. 班での考察やディスカッション、質疑応答をする中で、答は一つとは限らないことを学ぶ。
3. 自分たちが伝えたいことをどのように表現することで相手に伝わるのかを体験的に学ぶ。

内容

| | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | 1日目：班でキャンパス内の原っぱ・雑木林で観察する虫を決める |
| 2 | 半日以上観察を続けながら「虫の気持ち」を考えて行動を解釈する |
| 3 | 班で虫の行動の意味を話し合打とともに、必要に応じて簡単な実験も行う |
| 4 | 観察内容の発表と質疑応答 |
| 5 | 観察内容の発表と質疑応答 |
| 6 | 2日目：動物園で班による決まった種や個体の行動観察 |
| 7 | 動物園で班による決まった種や個体の行動観察 |
| 8 | 動物園で班による決まった種や個体の行動観察 |
| 9 | 動物園で班による決まった種や個体の行動観察 |
| 10 | 動物園で班による決まった種や個体の行動観察 と動物解説員からのアドバイス |
| 11 | 3日目：観察内容の考察 |
| 12 | 観察内容の考察 |
| 13 | プレゼンテーションの準備 |
| 14 | 発表 |
| 15 | 発表 とまとめ |

評価

3日間の活動の様子（50％）と、動物園での観察を中心とした3日間の活動のレポート（50％）をもとに評価する。
。60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない。適宜プリントを配布。

【参考図書】・樹液をめぐる昆虫たち ・飼育係が見た動物のヒミツ51

・飼育係がガイドする動物園 今日も動物園日和

| | | | |
|---------|----------------|---------|-------|
| 科目名 | 生物学 | | |
| 担当教員名 | 二宮 穣 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 1Bクラス |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は自然科学系の一般教養的な性格の科目で、生命現象や生物に関する理解を必要とするような他の科目と関連が深い。

科目の概要

生命現象や生物と関係のある問題に対して、的確に考え意思決定ができるように、分子・細胞といったマイクロなレベルの生命現象から、生物の集団さらには生態系といったマクロなレベルで生じる現象まで、広く扱う。

学修目標

1. 生命現象を、分子レベルで理解できる。
2. 生物の集団レベルで生じる現象を理解できる。
3. それらの理解に基づいて、具体的な生物を見ることができる。
4. それらの理解に基づいて、身近な問題を考えることができる。

内容

| | |
|----|----------------------------|
| 1 | 地球にはどんな生物がいるか 生物の分類と系統 |
| 2 | 地球にはどんな生物がいるか 動物および植物について |
| 3 | 地球にはどんな生物がいるか 菌類およびその他について |
| 4 | 細胞 細胞の構造と機能および細胞進化 |
| 5 | 細胞 細胞の生と死 |
| 6 | 遺伝子 遺伝子の本体(1)DNAの構造 |
| 7 | 遺伝子 遺伝子の本体(2)DNAの機能 |
| 8 | 遺伝子 遺伝子の発現とその調節 |
| 9 | 発生 卵から動物の体ができるまで |
| 10 | 発生 発生と遺伝子 |
| 11 | 進化 |
| 12 | 生態 個体群の構造と動態 |
| 13 | 生態 バイオームと生態系 |
| 14 | 生物多様性とその保全 |
| 15 | まとめ |

評価

授業の3分の2以上出席した学生を評価の対象とする。身近な生物に関するレポート(30点)と試験(70点)により

評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない。適宜プリントを配布。

【参考図書】教室で紹介する。

| | | | |
|---------|----------------|---------|----|
| 科目名 | 宇宙科学 | | |
| 担当教員名 | 北原 俊一 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目のひとつで、この地球や宇宙がどのようなものから成り立っているのかを学ぶ。自然を理解する姿勢と、科学的な教養を身に着けて欲しいと考えている。

科目の概要

現在この世界を形作っているさまざまな元素は、宇宙の進化発展と深くかかわっている。この講義では、宇宙のはじまりから現在に至る間にどのように元素が生まれてきたのかについて学ぶ。またこの世界を形作っている基本粒子について学ぶ。

学修目標

1. 宇宙の始まりについて理解する。
2. この世界がどのような要素から構成されているのかを理解する。
3. 宇宙の歴史の中でどのように元素が生まれてきたかを理解する。

内容

| | |
|----|---------------|
| 1 | 宇宙と地球について |
| 2 | ビッグバンと物質の起源 |
| 3 | 元素説 |
| 4 | 原子核と電子 |
| 5 | 宇宙初期での元素合成 |
| 6 | 銀河と星のはじまり |
| 7 | 太陽の光るしくみと原子力 |
| 8 | 光の正体 |
| 9 | 小さい星の最期と元素の合成 |
| 10 | 重い星の最期と元素の合成 |
| 11 | 中性子と中性微子 |
| 12 | 宇宙の中での分子の合成 |
| 13 | 星の誕生と地球 |
| 14 | まとめ-その1 |
| 15 | まとめ-その2 |

評価

授業中の提出物30%、試験70%により評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合、レポートを課す。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】使用しない

【参考図書】加藤万里子「新・100億年を翔ける宇宙 ビックバンから生命の誕生まで」恒星社厚生閣

| | | | |
|---------|----------------|---------|----|
| 科目名 | 人間工学 | | |
| 担当教員名 | 角田 真二 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 人間生活において道具の使いやすさは重要である。人間工学では日常の道具について考える。例えば、サイン音の問題のような五感,視聴覚,音の問題もその一つである。ここでは重要であるがあまり学ぶ機会の少ない五感,視聴覚,音に関して学ぶ。

科目の概要 五感,視聴覚,音に関する簡単な実験,調査が行なえるようになること。

概要:五感、視聴覚、音に関する基礎知識、音の分析、処理、表現技術について学ぶ。声、音楽、効果音、雑音を問わず満遍なく扱う。

学修目標 五感、視聴覚、音に関する簡単な実験、調査が行なえるようになることである。

内容

1. オリエンテーション
2. 心理学的知識を学ぶ
3. 生理学な心理学的知識を学ぶ
4. 物理学的な知識を学ぶ
5. 数学的な知識を学ぶ 数学的な考察,フーリエ解析等の知識が必要である
6. 言語的な知識を学ぶ 音声の子音部だけを除去し実際にどのように変化するかなど,学ぶ
7. 福祉学的な知識を学ぶ 高周波の音の聞こえなど
8. 録音技術について学ぶ
9. 分析技術について学ぶ
10. 表現技術について学ぶ
11. デジタルな音楽について学ぶ
12. 雑音について学ぶ 日常生活における雑音の重要性を考察する
13. 五感,視聴覚の相互作用について学ぶ
14. 効果音について学ぶ
15. まとめ

評価

毎回提出してもらうレポート、150点満点(15回×10点満点)で、90点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用せず、プリント配布。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 運動と健康 | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

共通科目「運動と健康」は、みなさんが学生生活を含め、これからの人生をよりゆたかに、そしてすこやかに生きるための知識を学ぶ必修講義科目です。

授業では、健康の現代的な意味、運動のメカニズムと運動することの意味、運動の効用などについて、実際のからだを測定したり(体組成)、自分の生活を振り返ったりしながら、具体的資料や実体験に基づいた内容を取り入れて授業を進めます。

学修目標は、次の3点です。健康であることの意義を理解することができる。現代社会における運動の必要性を理解することができる。健康と運動の関係することができる。

内容

- 1、 人間の本質
- 2、 人間らしさと運動
- 3、 基本的な健康生活
- 4、 測定できる身体(自分のからだを知る!)
- 5、 人生80年と健康
- 6、 現代社会と運動と肥満
- 7、 私たちのからだと運動(運動のメカニズム)
- 8、 私たちのからだと運動(運動の種類と方法)
- 9、 健康と運動の量
- 10、 健康と運動の質
- 11、 健康と運動と食事
- 12、 健康と運動と精神的健康
- 13、 現代社会が抱える健康問題(心とからだ)
- 14、 現代社会が抱える健康問題(大人と子ども)
- 15、 まとめ

評価

授業時の小レポート(30点)と通常の授業態度(10点)、ペーパーテスト(60点)により評価を行い、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書・テキストは使用しません。授業時に資料を配布します。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 運動と健康 | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Bクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

共通科目「運動と健康」は、皆さんが学生生活を含め、これからの人生をよりゆたかに、そしてよりすこやかに生きるための知恵を学ぶ必修講義科目です。

授業では、健康の現代的な意味、運動のメカニズムと運動することの意味、運動の効用などについて、実際に自分のからだを測定したり(体組成)、自分の生活を振り返ったりしながら、具体的資料や実体験に基づいた内容を取り入れて授業を進めます。

学修目標は、次の3点です。健康であることの意義を理解することができる。現代社会における運動の必要性を理解することができる。健康と運動の関係を理解することができる。

内容

| | |
|----|--------------------------|
| 1 | 1. 人間らしさの本質 |
| 2 | 2. 人間らしさと運動 |
| 3 | 3. 基本的な健康生活 |
| 4 | 4. 測定できる身体(自分のからだを知る!) |
| 5 | 5. 人生80年と健康 |
| 6 | 6. 現代社会と運動と肥満 |
| 7 | 7. 私たちのからだと運動(運動のメカニズム) |
| 8 | 8. 私たちのからだと運動(運動の種類と方法) |
| 9 | 9. 健康と運動の量 |
| 10 | 10. 健康と運動の質 |
| 11 | 11. 健康と運動と食事 |
| 12 | 12. 健康と運動と精神的健康 |
| 13 | 13. 現代社会が抱える健康問題(心とからだ) |
| 14 | 14. 現代社会が抱える健康問題(大人と子ども) |
| 15 | 15. まとめ |

評価

授業時の小レポート(30点)と通常の授業態度(10点)、ペーパーテスト(60点)により評価を行い、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書・テキストは使用しません。授業時に資料を配布します。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 運動と健康 | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Bクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

健康に関する知識を獲得し、将来積極的に運動に親しむように知識と実践との双方向から健康についてアプローチしていく。

科目の概要

現在、少子高齢化社会を迎え生活習慣病等の問題は切実である。生活習慣病の予防だけでなく、体力の保持増進にはスポーツが有効である。また、ストレスの多い現代社会で、生活の質の向上や精神的な心の豊かさをかちとるためにもスポーツに携わる機会が増加している。今後も身体的、精神的にスポーツの果たす役割はますます高まるものと思われる。本講義では、からだを動かすことの重要性を述べるとともに、スポーツを楽しく効果的に実施するために、からだの構造や機能について学び、運動生理学はじめ関係する学問諸分野からも基礎知識と課題を提示する。

学修目標

身体についての理解を深め運動の重要性に関する知識を学び理解することで、自らスポーツを始めるきっかけにできるようにしたい。

内容

- 1.健康とは：食育，体育と健康の三位一体モデル。健康チェックリストの自作と評価。構成概念としての健康
- 2.身体の変化と発達：二足歩行の進化史。運動するためにデザインされた人体構造
- 3.骨と筋肉の基礎知識：骨の代謝と骨粗鬆症，筋肉の分類
- 4.脳構造と脳機能の基礎知識：脳の階層構造と各部位の協調。感覚運動系の予測システム
- 5.有酸素性運動の理論1：有酸素性運動の定義とエネルギー供給。最大酸素摂取量と無酸素性作業閾値
- 6.有酸素性運動の理論2：最大酸素摂取量と無酸素性作業閾値(乳酸・換気性閾値)の判定
- 7.有酸素性運動の理論3：運動強度と[心拍出量・心拍数・肺換気量・呼吸数]との関係
- 8.有酸素性運動の理論4：トレーニングの効果と日常生活への影響
- 9.健康づくりと運動プログラム(トレーニングの基礎)：有酸素運動と無酸素運動の違い。有酸素運動の効果
- 10.健康づくりと運動プログラム(プログラム作成の原則)：過負荷と超回復。漸増負荷。強度と時間，頻度
- 11.健康づくりと運動プログラム(運動によるエネルギー消費)：運動強度の指標群，METS消費加算計算
- 12.健康づくりと運動プログラム(運動処方)の原理)：心拍数の意味と利用法。ウォーミングアップとクーリングダウン
- 13.健康格差と少子高齢化：健康の社会的要因(生物・心理・社会モデル)。人口減少の実態。
- 14.ライフステージごとの健康：働く女性の実情。21世紀成年者縦断調査の概略。子どもと高齢者の健康
- 15.総復習：運動習慣と食習慣から健康づくりを考える
- 16.試験

評価

毎回の講義後に簡単な感想や小テストを課す。感想や小テストの評価を35%、筆記試験を65%として合計で60%以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦図書は授業の中で、随時紹介する。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 運動と健康 | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Cクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

共通科目「運動と健康」は、皆さんが学生生活を含め、これからの人生をよりゆたかに、そしてよりすこやかに生きるための知恵を学ぶ必修講義科目です。

授業では、健康の現代的な意味、運動のメカニズムと運動することの意味、運動の効用などについて、実際に自分のからだを測定したり(体組成)、自分の生活を振り返ったりしながら、具体的資料や実体験に基づいた内容を取り入れて授業を進めます。

学修目標は、次の3点です。健康であることの意義を理解することができる。現代社会における運動の必要性を理解することができる。健康と運動の関係を理解することができる。

内容

| | |
|----|--------------------------|
| 1 | 1. 人間らしさの本質 |
| 2 | 2. 人間らしさと運動 |
| 3 | 3. 基本的な健康生活 |
| 4 | 4. 測定できる身体(自分のからだを知る!) |
| 5 | 5. 人生80年と健康 |
| 6 | 6. 現代社会と運動と肥満 |
| 7 | 7. 私たちのからだと運動(運動のメカニズム) |
| 8 | 8. 私たちのからだと運動(運動の種類と方法) |
| 9 | 9. 健康と運動の量 |
| 10 | 10. 健康と運動の質 |
| 11 | 11. 健康と運動と食事 |
| 12 | 12. 健康と運動と精神的健康 |
| 13 | 13. 現代社会が抱える健康問題(心とからだ) |
| 14 | 14. 現代社会が抱える健康問題(大人と子ども) |
| 15 | 15. まとめ |

評価

授業時の小レポート(30点)と通常の授業態度(10点)、ペーパーテスト(60点)により評価を行い、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書・テキストは使用しません。授業時に資料を配布します。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 運動と健康 | | |
| 担当教員名 | 加藤 優 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Cクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

内容

評価

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| | | | |
|---------|--------------------------|---------|----|
| 科目名 | シーズンスポーツ | | |
| 担当教員名 | 山本 悟、平田 智秋、鈴木 康弘、飯田 路佳 他 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

3泊4日の雪上実習と3回の事前オリエンテーションを通じて、スキーやスノーボードの基礎技術はもとより、集団生活を通じて自律した行動・態度を身につける。

科目の概要

本学湯の丸山荘において、スキーもしくはスノーボードの実習を行う。

学修目標

- 自然との関わりの深いスキーやスノーボードの特性について理解し、その知識と技術を身につける。
- 自然界のすばらしさと厳しさを味わい、生涯を通じて自然に親しむ態度を養う。
- 健康管理への気付き、学年や学科を超えた交流の中から仲間意識を高める。

内容

実習を通じて、以下の技能を体得する；

スキー初級

雪や用具になれる：スキーの着脱、転倒起立、歩行、方向変換、推進滑降、登行
初歩的な滑降：直滑降、プルーク、プルーク・ボーゲン

スキー中級

基本的な構えとスキー操作を学ぶ：斜滑降、横滑り、山回り、プルーク・ターン
リズムとバランス感覚を学ぶ：シュテム・ターンなど

スキー上級

スピードをコントロールし、回転動作を洗練する：パラレル・ステップターン
制限コースや雪質、斜面などへの対応力を高める：制限滑降、深雪滑降

スノーボード初級

装備の着脱、転び方と起き方、スケーティング
リフトの乗り降り、サイドスリップと木の葉落とし(かかと、つま先の両側で)

スノーボード中級

Jターン(かかと、つま先の両方で)。ノーズドロップ
ずらしを利用した連続ターン

スノーボード上級

カービングターン，大回りと小回り

評価

オリエンテーションへの参加と，実習における技能習得や生活態度を総合して評価し，60%以上の評価を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】オリエンテーションで紹介し、推薦する。

（備考）

- ・実施時期：平成26年2月9日（日）～12日（水）3泊4日
- ・実施場所及び宿泊施設：湯の丸スキー場、本学湯の丸山荘
- ・実習参加費（予定）：30,000円程度（宿泊費・3泊9食、交通費、保険料、リフト代、レンタル代等）
～ウエアのレンタルは無いので、各自で準備が必要
- ・後期履修登録前にオリエンテーションを開くので、受講希望者は必ず参加すること。
- ・履修人数を30～35名程度に制限する予定である。

| | | | |
|---------|-------------------------|---------|----|
| 科目名 | アメリカ文化研究 | | |
| 担当教員名 | 森田 勝之 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | 幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は諸外国(アメリカ、カナダ、イギリス等)の歴史、言語、文化の研究を通して異文化に触れ、より深く理解し、留学や研修で必要かつ十分な理解を得ようとするものです。とりわけそのなかでも、アメリカの国家としての成立の過程で、イギリス、カナダとどのように影響しあったかが重要となる。言語や文化、民族、大衆文化にいたるまであらゆるところに見られる類似点と相違点を考察していく。

内容

アメリカ文化を多面的に捉えます。

1. 導入
2. アメリカの歴史：背景
3. アメリカの歴史：人物
4. アメリカの歴史：他の国との関係
5. アメリカの言語：歴史
6. アメリカの言語：変化
7. アメリカの言語：他の言語との関係
8. アメリカの文化：建築や芸術
9. アメリカの文化：文学
10. アメリカの文化：他の文化との関係
11. アメリカの地理：背景
12. アメリカの経済
13. アメリカと国際社会との関係
14. アメリカのまとめ 1
15. アメリカのまとめ 2

評価

平常点(30%)、リアクションペーパー(20%)、レポート(50%)による。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業開始時に説明：プリント

| | | | |
|---------|----------------|---------|-------|
| 科目名 | 情報社会論 | | |
| 担当教員名 | 岡本 泰次 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

情報通信技術とその活用分野の発展が、人々の社会生活に様々な変化をもたらしています。

本講義では、具体的な事例によって情報活用の現状を紹介し、情報技術の仕組みと利用手段についても紹介します。また、情報化がもたらす良い面と悪い面、可能性と課題について整理し、社会とビジネスの方向性について考えます。グループ討議などにより、学生どうしの意見交換も実施する予定です。

本講義の目標は、次の3点です。

- 1) 情報化がもたらす社会生活への影響について理解する。
- 2) 情報社会の方向性について自分で考える力を養う。
- 3) 自分自身が情報社会とどのように関わるかを考え、自分自身の行動に役立てる。

内容

| | |
|----|--------------------|
| 1 | オリエンテーション |
| 2 | 情報の歴史 |
| 3 | 情報の取り扱い |
| 4 | 個人の情報活用：日常生活 |
| 5 | 個人の情報活用：人間関係 |
| 6 | 個人の情報活用：公的サービス |
| 7 | 企業の情報活用 |
| 8 | ネットワークサービス技術 |
| 9 | システムの開発と運用 |
| 10 | 世界中の情報の整理 (Google) |
| 11 | 情報社会とビジネス |
| 12 | 人々の知恵：集合知 |
| 13 | 情報化される個人 |
| 14 | 情報社会の光と影 |
| 15 | まとめ |

評価

学習目標に関するレポートなど提出物(100点)により評価する。60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】講義資料をPDFなど電子資料で提供します。

【参考図書】総務省『情報通信白書for kids』(http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/kids/index.html)

梅田望夫『ウェブ進化論』(ちくま書房)

坪田知己 『2030年メディアのかたち』（講談社）

| | | | |
|---------|----------------|---------|-------|
| 科目名 | 情報社会論 | | |
| 担当教員名 | 岡本 泰次 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Bクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

情報通信技術とその活用分野の発展が、人々の社会生活に様々な変化をもたらしています。

本講義では、具体的な事例によって情報活用の現状を紹介し、情報技術の仕組みと利用手段についても紹介します。また、情報化がもたらす良い面と悪い面、可能性と課題について整理し、社会とビジネスの方向性について考えます。グループ討議などにより、学生どうしの意見交換も実施する予定です。

本講義の目標は、次の3点です。

- 1) 情報化がもたらす社会生活への影響について理解する。
- 2) 情報社会の方向性について自分で考える力を養う。
- 3) 自分自身が情報社会とどのように関わるかを考え、自分自身の行動に役立てる。

内容

| | |
|----|--------------------|
| 1 | オリエンテーション |
| 2 | 情報の歴史 |
| 3 | 情報の取り扱い |
| 4 | 個人の情報活用：日常生活 |
| 5 | 個人の情報活用：人間関係 |
| 6 | 個人の情報活用：公的サービス |
| 7 | 企業の情報活用 |
| 8 | ネットワークサービス技術 |
| 9 | システムの開発と運用 |
| 10 | 世界中の情報の整理 (Google) |
| 11 | 情報社会とビジネス |
| 12 | 人々の知恵：集合知 |
| 13 | 情報化される個人 |
| 14 | 情報社会の光と影 |
| 15 | まとめ |

評価

学習目標に関するレポートなど提出物(100点)により評価する。60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】講義資料をPDFなど電子資料で提供します。

【参考図書】総務省『情報通信白書for kids』(http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/kids/index.html)

梅田望夫『ウェブ進化論』(ちくま書房)

坪田知己 『2030年メディアのかたち』（講談社）

| | | | |
|---------|----------------|---------|-------|
| 科目名 | コンピュータ概説 | | |
| 担当教員名 | 井口 磯夫 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部（H）-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | | | |

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の1つであり、現在の情報通信技術が発達したデジタル社会において、その仕組みや特性を理解し、情報の価値や利用方法、注意すべきことについて考える。

コンピュータの仕組み、情報を扱う技術、情報通信を支える技術について学ぶ。次に、それらを利用したインターネットやネットワーク上でのサービスについて理解を深める。さらに、ネットワーク上の脅威としそれに対する備え、情報を利用するときの倫理観、情報社会の予想される未来について議論する。

情報の概念や価値について理解する。

コンピュータの仕組み、情報を扱う技術、情報通信を支える技術を学び、社会でどのように利用されているかを理解する。ネットワーク上の脅威についての知識を深め、情報社会の一員としてモラルを身につける。

内容

| | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | 現代社会と情報 |
| 2 | 2進法、文字コード、フォント |
| 3 | 情報の表現技術 |
| 4 | コンピュータのしくみ |
| 5 | オペレーションシステムのしくみ |
| 6 | デジタル放送、エラー検出 |
| 7 | インターネットのしくみ |
| 8 | ネットワークのしくみ |
| 9 | WWWと電子メール |
| 10 | 検索エンジンとインターネットサービス（SNS、Wikipedia） |
| 11 | 情報システム、電子商取引 |
| 12 | メディアリテラシー |
| 13 | コンピュータウイルス、情報漏洩 |
| 14 | 個人情報、知的財産権 |
| 15 | まとめ |

評価

授業中の小テストおよび提出物（60点）、期末テスト（40点）により評価し、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合には「再試験課題（レポート）」を課す。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 井口磯夫編著「デジタル世代のための情報基礎」ムイスリ出版

| | | | |
|---------|----------------|---------|-------|
| 科目名 | コンピュータ概説 | | |
| 担当教員名 | 北原 俊一 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 1Bクラス |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資 格 関 係 | | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目では、大学での学習や社会で必要となる情報に関する基礎的な知識の習得を目指す。情報処理演習、コンピュータ表現系の科目の基礎となる。

科目の概要

情報とはどのようなものか、コンピュータ内部やインターネット上でやり取りする様々な情報の表現方法について学ぶ。また、コンピュータやネットワークのしくみについて、情報と社会について学ぶ。

学修目標

1. 情報量について理解し、情報の表現方法・伝達方法がわかる。
2. インターネットやコンピュータのしくみが分かる。
3. 社会での情報ネットワークの利用について理解する。

内容

| | |
|----|-----------------|
| 1 | 情報社会と情報 |
| 2 | 情報の表現 |
| 3 | コンピュータの計算の仕組み |
| 4 | コンピュータのハードウェア |
| 5 | コンピュータのソフトウェア |
| 6 | ネットワークの仕組み |
| 7 | インターネット |
| 8 | 社会でのインターネットの活用 |
| 9 | 経営情報システム |
| 10 | 身近なコミュニケーションツール |
| 11 | 電子商取引とネットビジネス |
| 12 | 情報セキュリティ |
| 13 | 情報倫理 |
| 14 | まとめ |
| 15 | まとめとふり返し |

評価

授業中の提出物30%、試験70%により評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合、レポートを課す。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】井口磯夫『デジタル世代のための情報基礎』ムイスリ出版

【参考図書】大村平『情報のはなし』日科技連、久野靖・辰巳丈夫・佐藤義弘『最新情報リテラシー』日経BP社、山川修・田中武之・菊沢正裕『情報リテラシー』森北出版

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動A | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は教員免許取得に関する必修で体育実技中心の科目である。特定のスポーツ種目の技術を修得するだけでなく、スポーツ体験をおして理論と実践とを結びつける場とする。そして自分自身が運動の楽しさを感じていくプロセスを体験することにより、将来の指導のヒントを得るような授業を展開していく。また今後4年間、充実した大学生活を送るための基礎づくりの狙いも持つ。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修。2~5週を単位に1種目の体育実技を行っていく。チームスポーツ、個人スポーツ、対人スポーツやレクリエーション的要素も取り入れ、授業を通して多くの友人とふれ合い教員を含め円滑なコミュニケーションが取れるようにする。

学習目標

将来、指導の現場に出た際に子ども達の能力技能に応じた的確にアドバイスできるようにする。そして、運動することの楽しさを実際に体験し、できる喜びを与えられるような基礎的なティーティングやコーチングの具体的な方法を身につけることを目標とする。

内容

1週 ; 【ガイダンス】 (今後の授業内容、評価について、注意事項など)

2週~3週 ; 【なわとび】個人スポーツ

コーディネーション、基本の飛び方から技の取得、なわとび検定

4週~5週 ; 【サッカー・フットサル】チームスポーツ

サッカーをしよう・ボールフィーリング・ゴールを目指す・スモールサイトゲーム

6週~8週 ; 【バドミントン】対人スポーツ

基礎技術の取得、シングルゲーム、リーグ戦 【まとめ】

9週~11週 ; 【バスケットボール】チームスポーツ

基礎技術の取得、リーグ戦

12週~15週 ; 【体づくり運動】【まとめ】

いろいろなスポーツ種目を通じて総合的な身体運動を行う。

天候等によっては、グラウンドで行う場合とアリーナで行う場合があるので外履き・体育館履きの両方を必ず準備すること。

体調不良等でやむを得ない場合は見学となるが、その際も運動着に必ず着替えること。

「授業の内容と活動記録」「授業の留意点」「感想」を毎時間整理するので筆記用具持参。

受講生の状況を見極め、実技種目を変更する場合がある。

評価

平常点（授業に取り組む姿勢・態度・関心）50% / 提出物の内容20% / 実技試験やレポート30%

上記による評価を行い、60%以上を合格点とする

授業内で行うゲームの勝敗等については、マイナスの評価はしない

欠席時間が4回を超えると評価を行わない（遅刻2回で、欠席1回とする）

合格点に満たなかった場合は、再試験を行う

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に提示する

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動A | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Bクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。養護教諭免許取得に関する必修科目にもなっている。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。

協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。

学修目標

- 1、身体を動かすことの楽しさを感じ、自分や他者のからだについて気づきを深めること。
- 2、仲間との交流を深めながら協働し、協調性を高めること。
- 3、グループ活動においては、経験の有無にかかわらず、皆楽しむことができるように活動のしかたやルールを工夫すること。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目ごとに班を変えますので、多くの人と分け隔てなく協力し、友達を増やして下さい。

予定種目(カッコ内は予定回数)：イントロダクション(1)、レクリエーションゲーム(2)、フィールドアスレチック(2)、ダンス(5)、球技(4)。

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグラウンドか体育館を使いますので、毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意して下さい。また、前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用して下さい。(ゼッケンの作り方は初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意して下さい。)

<初回授業の案内>

初回授業はサブアリーナ(記念ホール1F)で行います。運動できる格好で、体育館シューズを用意してください。また、なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）、授業ごとのコメント表の作成およびまとめのレポート50%を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動A | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 10クラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は教員免許取得に関する必修で体育実技中心の科目である。特定のスポーツ種目の技術を修得するだけでなく、スポーツ体験をおして理論と実践とを結びつける場とする。そして自分自身が運動の楽しさを感じていくプロセスを体験することにより、将来の指導のヒントを得るような授業を展開していく。また今後4年間、充実した大学生活を送るための基礎づくりの狙いも持つ。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修。2~5週を単位に1種目の体育実技を行っていく。チームスポーツ、個人スポーツ、対人スポーツやレクリエーション的要素も取り入れ、授業を通して多くの友人とふれ合い教員を含め円滑なコミュニケーションが取れるようにする。

学習目標

将来、指導の現場に出た際に子ども達の能力技能に応じて的確にアドバイスできるようにする。そして、運動することの楽しさを実際に体験し、できる喜びを与えられるような基礎的なティーティングやコーチングの具体的な方法を身につけることを目標とする。

内容

1週 ; 【ガイダンス】 (今後の授業内容、評価について、注意事項など)

2週~3週 ; 【なわとび】個人スポーツ

コーディネーション、基本の飛び方から技の取得、なわとび検定

4週~5週 ; 【サッカー・フットサル】チームスポーツ

サッカーをしよう・ボールフィーリング・ゴールを目指す・スモールサイトゲーム

6週~8週 ; 【バドミントン】対人スポーツ

基礎技術の取得、シングルゲーム、リーグ戦 【まとめ】

9週~11週 ; 【バスケットボール】チームスポーツ

基礎技術の取得、リーグ戦

12週~15週 ; 【体づくり運動】【まとめ】

いろいろなスポーツ種目を通じて総合的な身体運動を行う。

天候等によっては、グラウンドで行う場合とアリーナで行う場合があるので外履き・体育館履きの両方を必ず準備すること。

体調不良等でやむを得ない場合は見学となるが、その際も運動着に必ず着替えること。

「授業の内容と活動記録」「授業の留意点」「感想」を毎時間整理するので筆記用具持参。

受講生の状況を見極め、実技種目を変更する場合がある。

評価

平常点（授業に取り組む姿勢・態度・関心）50% / 提出物の内容20% / 実技試験やレポート30%

上記による評価を行い、60%以上を合格点とする

授業内で行うゲームの勝敗等については、マイナスの評価はしない

欠席時間が4回を超えると評価を行わない（遅刻2回で、欠席1回とする）

合格点に満たなかった場合は、再試験を行う

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に提示する

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動A | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Dクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。

協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。

学修目標

- 1、身体を動かすことの楽しさを感じ、自分や他者のからだについて気づきを深めること。
- 2、仲間との交流を深めながら協働し、協調性を高めること。
- 3、グループ活動においては、経験の有無にかかわらず、皆楽しむことができるように活動のしかたやルールを工夫すること。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目ごとに班を変えますので、多くの人と分け隔てなく協力し、友達を増やして下さい。

| | |
|-----------|-------------|
| 第1週 | イントロダクション |
| 第2週~第3週 | レクリエーションゲーム |
| 第4週~第5週 | フィールドアスレチック |
| 第6週~第8週 | ダンス |
| 第9週~第10週 | バドミントン |
| 第11週~第12週 | ドッジボール |
| 第13週~第14週 | バレーボール |
| 第15週 | 授業のまとめ |

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグラウンドか体育館を使いますので、毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意して下さい。また、前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用して下さい。(ゼッケンの作り方は初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意して下さい。)

< 初回授業の案内 >

運動できる格好で、体育館シューズを用意してください。また、なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）、授業ごとのコメント表の作成およびまとめのレポート50%を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動A | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Eクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目であるが、教員免許取得に関する必修科目にもなっている。身体運動を通して、コミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。また、十文字学園伝統の健康体操「自彊術」を体験する機会も設ける(オムニバス形式:不老先生担当)。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~4週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに、体を動かすことによる子どもたちに伝えるための基礎知識を学ぶ場も提供する。

学修目標

身体を動かすことの楽しさを体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深めることができる。また、小・中・高校と学習してきた「体育」という教科についての考え方を振り返ることもねらいとする。

内容

児童教育学科の学生を対象にした「人間と運動」では、天候や季節を考慮するとともに児童教育専攻に応じた運動種目を取り上げて実技中心の授業を実施する。授業の始めには、準備運動と体力づくりを意図した活動を行い、その後で主要となる運動種目を学習する形式で進めていく。

具体的な活動内容として、なわとび運動(長なわ)・器械運動・ボール運動・小学校の体育授業で扱う運動教材の復習などを取り上げる。また、準備運動の指導を輪番制で担当する活動も設定する。

第1週:オリエンテーション 第2~5週:器械運動・長なわとび 第6~9週:ボール運動

第10~11週:自彊術(十文字学園健康体操) 第12~14:長なわパフォーマンス(創作・表現活動) 第15週 まとめ

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グラウンドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グラウンド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。

毎時間、授業ノート(ルーズリーフ不可)と筆記具を用意すること。

見学者も運動着に着替えて出席すること。

評価

平常点(授業に対する取り組みで評価:運動量、協働性、意欲と関心)60点、ノート整理(提出2回)20点、試験ま

たはレポート20点による評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】文部科学省 『小学校学習指導要領解説 体育編』 東洋館出版社（平成20年度版）

【推薦書】筑波大学附属小学校体育部 『子どもが力をつける体育授業』 不昧堂出版

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動A | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Fクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目であるが、教員免許取得に関する必修科目にもなっている。身体運動を通して、コミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。また、十文字学園伝統の健康体操「自彊術」を体験する機会も設ける(オムニバス形式:不老先生担当)。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~4週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに、体を動かすことのおよさを子どもたちに伝えるための基礎知識を学ぶ場も提供する。

学修目標

身体を動かすことの楽しさを体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深めることができる。また、小・中・高校と学習してきた「体育」という教科についての考え方を振り返ることもねらいとする。

内容

児童教育学科の学生を対象にした「人間と運動」では、天候や季節を考慮するとともに児童教育専攻に応じた運動種目を取り上げて実技中心の授業を実施する。授業の始めには、準備運動と体力づくりを意図した活動を行い、その後で主要となる運動種目を学習する形式で進めていく。

具体的な活動内容として、なわとび運動(長なわ)・器械運動・ボール運動・小学校の体育授業で扱う運動教材の復習などを取り上げる。また、準備運動の指導を輪番制で担当する活動も設定する。

第1週:オリエンテーション 第2~5週:器械運動・長なわとび 第6~9週:ボール運動

第10~11週:自彊術(十文字学園健康体操) 第12~14:長なわパフォーマンス(創作・表現活動) 第15週 まとめ

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グラウンドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グラウンド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。

毎時間、授業ノート(ルーズリーフ不可)と筆記具を用意すること。

見学者も運動着に着替えて出席すること。

評価

平常点(授業に対する取り組みで評価:運動量、協働性、意欲と関心)60点、ノート整理(提出2回)20点、試験ま

たはレポート20点による評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】文部科学省 『小学校学習指導要領解説 体育編』 東洋館出版社（平成20年度版）

【推薦書】筑波大学附属小学校体育部 『子どもが力をつける体育授業』 不昧堂出版

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動A | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Gクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。養護教諭免許取得に関する必修科目にもなっている。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、
大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1 年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに身体を動かして遊ぶことの楽しさや意味を、子どもたちに伝えるための基礎知識も学ぶ。

学修目標

「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深める。

また、「できなかったことができるようになる」嬉しさを多く味わう。

これは心理学徒としての態度形成に確実に役立ちます。

最後に柔軟に「ゲームやルールの工夫」ができることを目標とする。

身体能力に制約があっても、ルールや用具を工夫することで、楽しめるスポーツの種類は広がる。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目ごとに班を変えますので、多くの人と分け隔てなく協力し、友達を増やして下さい。

予定種目(カッコ内は予定回数)：イントロダクション(1)、レクリエーションゲーム(2)、変形ドッジボール(2)、ティーボール(4)、フィールドアスレチック(2)、バレーボール(4)。

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグラウンドか体育館を使いますので、毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意して下さい。また、前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意して下さい)。

<初回授業の案内>

初回授業はサブアリーナ(記念ホール1F)で行います。運動できる格好で、体育館シューズを用意すること。また、なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気づきを記入する欄があるので、前期の間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し、合計

60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書】バーバラ・コナブル 『音楽家ならだれでも知っておきたい「からだ」のこと』 誠信書房

演奏家向けの本ですが、身体が動く仕組みが「図入りで分かりやすく」書いてあります。自分の身体に備わる筋肉と骨格の構造を知るだけでも、運動に対する視点が柔軟になり、自然と自分（と自分の身体）が好きになります。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動A | | |
| 担当教員名 | 平田 智秋、不老 浩二 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 1Hクラス |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。養護教諭免許取得に関する必修科目にもなっている。
身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、
大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1 年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに身体を動かして遊ぶことの楽しさや意味を、子どもたちに伝えるための基礎知識も学ぶ。

学修目標

「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深める。
また、「できなかったことができるようになる」嬉しさを多く味わう。
これは心理学徒としての態度形成に確実に役立ちます。
最後に柔軟に「ゲームやルールの工夫」ができることを目標とする。
身体能力に制約があっても、ルールや用具を工夫することで、楽しめるスポーツの種類は広がる。
幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目ごとに班を変えますので、多くの人と分け隔てなく協力し、友達を増やして下さい。

予定種目(カッコ内は予定回数)：イントロダクション(1)、レクリエーションゲーム(2)、変形ドッジボール(2)、ティーボール(4)、フィールドアスレチック(2)、バレーボール(4)。

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグラウンドか体育館を使いますので、毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意して下さい。また、前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意して下さい)。

<初回授業の案内>

初回授業はサブアリーナ(記念ホール1F)で行います。運動できる格好で、体育館シューズを用意すること。また、なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気づきを記入する欄があるので、前期の間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し、合計

60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書】バーバラ・コナブル 『音楽家ならだれでも知っておきたい「からだ」のこと』 誠信書房

演奏家向けの本ですが、身体が動く仕組みが「図入りで分かりやすく」書いてあります。自分の身体に備わる筋肉と骨格の構造を知るだけでも、運動に対する視点が柔軟になり、自然と自分（と自分の身体）が好きになります。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動A | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Jクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。

協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。

学修目標

- 1、身体を動かすことの楽しさを感じ、自分や他者のからだについて気づきを深めること。
- 2、仲間との交流を深めながら協働し、協調性を高めること。
- 3、グループ活動においては、経験の有無にかかわらず、皆楽しむことができるように活動のしかたやルールを工夫すること。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目ごとに班を変えますので、多くの人と分け隔てなく協力し、友達を増やして下さい。

| | |
|-----------|-------------|
| 第1週 | イントロダクション |
| 第2週~第3週 | レクリエーションゲーム |
| 第4週~第5週 | フィールドアスレチック |
| 第6週~第8週 | ダンス |
| 第9週~第10週 | 自彊術 |
| 第11週~第12週 | ドッジボール |
| 第13週~第14週 | バレーボール |
| 第15週 | 授業のまとめ |

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグラウンドか体育館を使いますので、毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意して下さい。また、前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用して下さい。(ゼッケンの作り方は初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意して下さい。)

< 初回授業の案内 >

運動できる格好で、体育館シューズを用意してください。また、なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）、授業ごとのコメント表の作成およびまとめのレポート50%を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動A | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Kクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1 年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習する。

学修目標

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感(嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツの楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚)すべてで感じる。

スポーツ活動による仲間づくりやチームづくりの手段と方法を理解する。

授業を通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになってほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目ごとに班を変えますので、多くの人と分け隔てなく協力し、友達を増やして下さい。

予定種目(カッコ内は予定回数)：イントロダクション(1)、レクリエーションゲーム(2)、ドッジビー(2)、ティールボール(4)、フィールドアスレチック(2)、パレーボール(4)。

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグラウンドか体育館を使いますので、毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意して下さい。また、前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意して下さい)。

<初回授業の案内>

初回授業はサブアリーナ(記念ホール1F)で行います。運動できる格好で、体育館シューズを用意すること。また、なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入する欄があるので、後期の間最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。?

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動A | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Lクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1 年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習する。

学修目標

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感(嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツの楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚)すべてで感じる。

スポーツ活動による仲間づくりやチームづくりの手段と方法を理解する。

授業を通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになってほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目ごとに班を変えますので、多くの人と分け隔てなく協力し、友達を増やして下さい。

予定種目(カッコ内は予定回数)：イントロダクション(1)、レクリエーションゲーム(2)、ドッジビー(2)、ティールボール(4)、フィールドアスレチック(2)、バレーボール(4)。

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグラウンドか体育館を使いますので、毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意して下さい。また、前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意して下さい)。

<初回授業の案内>

初回授業はサブアリーナ(記念ホール1F)で行います。運動できる格好で、体育館シューズを用意すること。また、なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入する欄があるので、後期の間で最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。?

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動A | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Mクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1 年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習する。

学修目標

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感(嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツの楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚)すべてで感じる。

スポーツ活動による仲間づくりやチームづくりの手段と方法を理解する。

授業を通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになってほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目ごとに班を変えますので、多くの人と分け隔てなく協力し、友達を増やして下さい。

予定種目(カッコ内は予定回数)：イントロダクション(1)、レクリエーションゲーム(2)、ドッジビー(2)、ティールボール(4)、フィールドアスレチック(2)、パレーボール(4)。

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグラウンドか体育館を使いますので、毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意して下さい。また、前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意して下さい)。

<初回授業の案内>

初回授業はサブアリーナ(記念ホール1F)で行います。運動できる格好で、体育館シューズを用意すること。また、なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入する欄があるので、後期の間最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。?

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動A | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Nクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、グラウンドや屋内、フィールドアスレチックなど、学内の様々な施設を利用することにより、季節を体感しながら、運動を楽しむ。

学修目標

- 1.「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らの身体についての気づきを深める。
- 2.コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
- 3.スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように(無理のない程度に)努力する。
- 4.和やかにかつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
- 5.卒業しても何らかの身体活動に興味を持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

スポーツを通じた仲間作りを目標に、ニュースポーツをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気づく」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めて行く。また、ストレッチ、リズムエクササイズ、マッサージ等は、ウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換等、スポーツの価値をこころとからだ全体で実感できるようにする。

第1週 オリエンテーション(授業のねらい、内容説明、運動調査等)

(w-up リズムエクササイズ、c-dnストレッチは毎回)

第2週? 実技(コミュニケーションゲーム・ボールトレーニングなど)

第4週? 実技(ネット型ゲーム・ゴール型ゲーム等各種競技など)

第11週? 実技(リズムエクササイズ、ダンス等)

第15週 まとめ

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

30分以上遅れた場合は欠席とする。

評価

授業に対する意欲、関心、態度60%、毎回のまとめ記入20%、実技まとめ20%とし、総合的に評価する。忘れものは減点とする。

見学者は授業内容等（指定用紙）を記入し、毎時提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で適宜指示する。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動A | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Pクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、グラウンドや屋内、フィールドアスレチックなど、学内の様々な施設を利用することにより、季節を体感しながら、運動を楽しむ。

学修目標

- 1.「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らの身体についての気づきを深める。
- 2.コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
- 3.スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように(無理のない程度に)努力する。
- 4.和やかにかつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
- 5.卒業しても何らかの身体活動に興味を持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

スポーツを通じた仲間作りを目標に、ニュースポーツをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気づく」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めて行く。また、ストレッチ、リズムエクササイズ、マッサージ等は、ウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換等、スポーツの価値をこころとからだ全体で実感できるようにする。

第1週 オリエンテーション(授業のねらい、内容説明、運動調査等)

(w-up リズムエクササイズ、c-dnストレッチは毎回)

第2週? 実技(コミュニケーションゲーム・ボールトレーニングなど)

第4週? 実技(ネット型ゲーム・ゴール型ゲーム等各種競技など)

第11週? 実技(リズムエクササイズ、ダンス等)

第15週 まとめ

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

30分以上遅れた場合は欠席とする。

評価

授業に対する意欲、関心、態度60%、毎回のまとめ記入20%、実技まとめ20%とし、総合的に評価する。忘れものは減点とする。

見学者は授業内容等（指定用紙）を記入し、毎時提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で適宜指示する。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

ハンドボールを中心に様々な集団球技を体験し、十分な運動量を確保したい。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

天候や施設状況によって、授業内容が変わることがあります。毎時間感想を記入しそれを元に出席管理を行います。

| | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション、からだほぐし運動 |
| 2 | ボール慣らし(1) |
| 3 | ボール慣らし(2)、シュートの種類・・・ステップシュート、ジャンプシュート |
| 4 | パス・シュート練習(1) |
| 5 | パス・シュート練習(2) |
| 6 | コンビネーション練習・・・関係プレーからシュートまで |
| 7 | ゲーム(1) |
| 8 | ゲーム(2) |
| 9 | ゲーム(3) |
| 10 | ゲーム(4) |
| 11 | ゲーム(5) |
| 12 | 火気取扱演習 |
| 13 | ボールゲーム(1) |
| 14 | ボールゲーム(2) |
| 15 | まとめ |

評価

授業態度60点、実技テスト20点など総合的に評価しますが、積極的に授業に参加し、スポーツを楽しもうとする姿勢20点を重要視します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

初回授業の案内

初回授業は記念ホール/メインアリーナに集まってください。運動ができる服装で、運動靴を準備してください。また、出席カードを作成しますので筆記用具・顔写真も忘れず準備してください。

私物(靴・手荷物)はすべて実施場所へ持参してください。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Bクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目であり、受講生それぞれが意欲や興味、能力に応じて「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。学科や学年を超えた多彩なクラス編成が本科目の特徴であり、スポーツや身体運動を通して学科や学年の異なる受講生の交流が深まることを期待している。教員免許や各種資格取得の必修科目にもなっている。

科目の概要

ボールを手や道具で打つ動作を主体にしたスポーツ種目を継続的に実施する。具体的には、ゴルフ・バドミントン・ソフトバレーボール等を4～5週間を単位にして行う予定である。

学修目標

- 1) クラス内の交流を基盤にして、身体を動かす積極的な姿勢を身につけること
- 2) 自らの意欲・能力に応じて、身体を動かすことの楽しみを見つけ、実技技能を高めること
- 3) 運動を言葉で表現する活動により、スポーツの新しいとらえ方に気づき、理解すること

内容

「身体運動2B」では、自らの身体を自由に動かす技能を高めることをテーマにして、「ゴルフ」、「バドミントン」、「ソフトバレーボール」に取り組んでみる。恐らく初めての経験となるゴルフの練習を通して、頭で考えながら身体を動かす習慣を身につけ、ある一定の動きや技ができるようになるプロセスを言葉で表現する意識を高めてほしいと考えている。

こうした活動を繰り返すことにより、目標とする動作がいつも同じタイミングやテンポでできるようになっていく。それには、動作のコツやポイントを探しながら考えて運動する習慣を身につけたり、仲間の運動の様子を観察したりする活動が重要になる。将来、教職を希望する者には、指導することの意味を考える機会が提供できると考えている。

授業の始めには、準備運動と体力づくり(なわとび等)を意図した活動を行い、その後で主とする運動種目(ゴルフ、バドミントンなど)を学習する形式で進めていく。天候に応じて、学習内容を入れ替える場合がある。

第1週 : オリエンテーション

第2～6週 : ゴルフ(基礎技術 ショートゲーム)

第7～11週 : バドミントン・なわとび(体力づくり)

第12～15週 : ソフトバレーボール・なわとび(体力づくり)

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グラウンドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グラウンド用と体育館用

の2種類の靴を用意すること。見学者も運動着に着替えて出席すること。

授業ノートは授業担当者で用意する。筆記具を必ず用意すること。

履修人数の上限を40～50名程度とする。

評価

平常点（授業への取り組みで評価：運動量、協働性、意欲や関心など）60点、ノート整理（提出2回）20点、レポート20点による評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に使用しない。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Dクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことによるこび」を見つけることを支援する。

また、身体活動を通じて学科や学年を超えた多彩なクラス編成メンバー相互が、その楽しさを共有するとともに相互の交流を促す機会とする。

科目の概要

球技における基本的な体の使い方を学ぶことを目的とする。主に、投げる・捕る・打つなどの動きを要するソフトボール(ティーボール)やクラブを用いてボールを叩くゴルフやシャトルを打つバドミントンを実施する。

学修目標

実技で扱う種目の技能を高め、生涯スポーツとして親しめる素地を養う。また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことによるこび」を見つけるとともに、他者との協調などを実技種目を通じて養うことをねらいとする。

内容

「人間と運動B」では球技における基本的な体の使い方を覚え、より高度な技能を習得しスポーツをより楽しむことをテーマにして、「ソフトボール(ティーボール)」「ゴルフ」「バドミントン」に取り組む。

ある一定の動きや技ができるようになるプロセスを繰り返し、運動技能を向上させる経験を重ねていく。このような技能を「クローズド・スキル」と称している。こうした活動を繰り返すことにより目標とする動作がいつも同じタイミングやテンポで出来るようになっていく。

それには動作のコツやポイントを探しながら考えて運動する習慣を身につけたり、仲間の運動の様子を観察したりする活動が重要になる。

将来、教職を希望する者に指導することの意味を考える機会を提供することが出来ると考えている。

授業の始めには準備運動や補強運動などを行い、その後、主運動種目を学習する形式で進めていく。

また、準備運動や補強運動の指導を輪番制で担当する活動も取り入れていく。

天候に応じてソフトボール・ゴルフの代わりにバレーボール・バスケットボール等を行う場合もある。

第1週：オリエンテーション、第2～6週：ソフトボール、

第7～1

1週：ゴルフ、第12～15週：バドミントン

授業ノートは「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることとする。

履修人数の上限を40名程度とする。

天候や授業の震度に応じて、グラウンドと体育館(アリーナ)を使い分けて授業を実施するため、グラウンド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。

見学者も運動着に着替えて出席すること。

毎時間、授業ノート（ルーズリーフ不可）と筆記用具を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入する欄があるので、後期の間最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業時に紹介する。）

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Eクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目です。テニスを中心に授業は構成されています。学科や学年を超えた多彩なクラス編成が本科目の特徴であり、スポーツを通して学科や学年が異なる受講者の交流が促されることを期待しています。

科目の概要

授業では、初心者がある程度テニスのゲームを楽しめる事ができるようになるためのプログラムを組んでいます。ゲーム形式で楽しみながら、フォアハンドストローク、サーブ、ボレーに関して初歩的な技能を身につけていきます。天候(雨天時)やテニスコートの面数(4面)の都合上、他のラケットスポーツ(バドミントン)を並行して行う場合があります。

学修目標

1. 仲間との交流を深めながら、協働力や協調性を高めていくこと
2. フォアハンドストローク、サーブ、ボレーの基本的な技能を修得すること
3. ゲームのルールを理解し、テニスのゲームができるようになること

| 内容 | |
|----|-----------------------------|
| 1 | ガイダンス(履修上の諸注意等)・班分け |
| 2 | ボール慣れ ショートコートでのラリー |
| 3 | ボール慣れ ショートコートでのラリー |
| 4 | ボレー ショートコートでのミニゲーム |
| 5 | ボレー ショートコートでのミニゲーム |
| 6 | ボレー ショートコートでのミニゲーム |
| 7 | サーブ 3対3のゲーム |
| 8 | サーブ 3対3のゲーム |
| 9 | ゲーム(ダブルス) |
| 10 | ゲーム(ダブルス) |
| 11 | ゲーム(ダブルス) |
| 12 | ゲーム(ダブルス) |
| 13 | ゲーム(ダブルス) |
| 14 | ゲーム(ダブルス) ボールコントロールとサーブのテスト |
| 15 | ゲーム(ダブルス) ボールコントロールとサーブのテスト |

評価

評価は、運動量及び協働力や協調性の達成度(授業への取り組みで評価、60点)、運動の質(実技試験:ボールコントロールとサーブ、30点)3割、ルールやマナーの理解(10点)の観点から総合的に行います。60点以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書 特に使用しない

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Fクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は体育の実技であり、学生個々の能力技能にあわせ「運動することの喜び」を感じられるよう授業を進める。さまざまな学科や学年が集まるメンバーとなることから、運動を通じて新たな交流が生まれる機会を積極的につくっていく。

科目の概要

個人スポーツを通じて運動スキルを高めることだけでなく、チームスポーツを通してチームビルディングのプロセスを体験し、コミュニケーション能力の向上も図っていく。

2~3週を単位に1種目のスポーツ実技を行っていく。授業で扱う種目としてはチームスポーツ、個人スポーツ、対人スポーツを軸にレクリエーション的な内容も取り入れる。またW-UP等は受講生自身が指導者となり授業を進め、指導者育成の観点で進め展開していく場合もある。

学習目標

種目を通じて運動のスキルアップをはかり指導方法を獲得することやフィジカルトレーニング的効果の獲得は勿論だが、クラス内でとる良いコミュニケーションを通じて、何よりも楽しく意識的にスポーツに取り組めることを目標とする。また将来年齢を重ねても体を動かすことの喜びを発見できるよう、将来豊かな人生を送る素地を養うこともこの授業の目標とする。

内容

1週 ; 【ガイダンス】 (今後の授業内容、評価について、注意事項など) 平服可

2週~3週 ; 【なわとび】個人スポーツ

コーディネーション、基本の飛び方から技の取得、なわとび検定

4週~5週 ; 【公式テニス】対人スポーツ

ベーシック技術の取得・ダブルスゲーム

6週~8週 ; 【バドミントン】対人スポーツ

基礎技術の取得、シングルゲーム、ダブルスゲーム、リーグ戦

9週~11週 ; 【サッカー・フットサル】チームスポーツ

ボールを使ったコーディネーショントレーニング、基本技術の取得、各種スモールサイトゲーム

12週~14 ; 【卓球・バスケットボール・ゴルフなど】

受講学生の技能、能力に応じて種目を決定し行う

15週 ; 【まとめ】

天候等によっては、グラウンドで行う場合とアリーナで行う場合があるので外履き・体育館履きの両方を必ず準備すること。

運動のできる服装で参加。体調不良等の理由でやむを得ない場合は見学となるが、その際も運動着に必ず着替えること。

「授業の内容と活動記録」「授業の留意点」「感想」を毎時間整理する。筆記用具持参。

評価

平常点（授業に取り組む姿勢・態度・関心）50% / 提出物の内容20% / 実技試験やレポート30%

上記による評価を行い、60%以上を合格点とする

授業内で行うゲームの勝敗等については、マイナスの評価はしない

欠席時間が4回を超えると評価を行わない（遅刻2回で、欠席1回とする）

合格点に満たなかった場合は、再試験を行う

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は必要としない。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Kクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目です。テニスを中心に授業は構成されています。学科や学年を超えた多彩なクラス編成が本科目の特徴であり、スポーツを通して学科や学年が異なる受講者の交流が促されることを期待しています。

科目の概要

授業では、初心者がある程度テニスのゲームを楽しめる事ができるようになるためのプログラムを組んでいます。ゲーム形式で楽しみながら、フォアハンドストローク、サーブ、ボレーに関して初歩的な技能を身につけていきます。天候(雨天時)やテニスコートの面数(4面)の都合上、他のラケットスポーツ(バドミントン)を並行して行う場合があります。

学修目標

1. 仲間との交流を深めながら、協働力や協調性を高めていくこと
2. フォアハンドストローク、サーブ、ボレーの基本的な技能を修得すること
3. ゲームのルールを理解し、テニスのゲームができるようになること

内容

| | |
|----|-----------------------------|
| 1 | ガイダンス(履修上の諸注意等)・班分け |
| 2 | ボール慣れ ショートコートでのラリー |
| 3 | ボール慣れ ショートコートでのラリー |
| 4 | ボレー ショートコートでのミニゲーム |
| 5 | ボレー ショートコートでのミニゲーム |
| 6 | ボレー ショートコートでのミニゲーム |
| 7 | サーブ 3対3のゲーム |
| 8 | サーブ 3対3のゲーム |
| 9 | ゲーム(ダブルス) |
| 10 | ゲーム(ダブルス) |
| 11 | ゲーム(ダブルス) |
| 12 | ゲーム(ダブルス) |
| 13 | ゲーム(ダブルス) |
| 14 | ゲーム(ダブルス) ボールコントロールとサーブのテスト |
| 15 | ゲーム(ダブルス) ボールコントロールとサーブのテスト |

評価

評価は、運動量及び協働力や協調性の達成度(授業への取り組みで評価、60点)、運動の質(実技試験:ボールコントロールとサーブ、30点)3割、ルールやマナーの理解(10点)の観点から総合的に行います。60点以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書 特に使用しない

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Gクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は体育の実技であり、学生個々の能力技能にあわせ「運動することの喜び」を感じられるよう授業を進める。さまざまな学科や学年が集まるメンバーとなることから、運動を通じて新たな交流が生まれる機会を積極的につくっていく。

科目の概要

個人スポーツを通じて運動スキルを高めることだけでなく、チームスポーツを通してチームビルディングのプロセスを体験し、コミュニケーション能力の向上も図っていく。

2~3週を単位に1種目のスポーツ実技を行っていく。授業で扱う種目としてはチームスポーツ、個人スポーツ、対人スポーツを軸にレクリエーション的な内容も取り入れる。またW-UP等は受講生自身が指導者となり授業を進め、指導者育成の観点で進め展開していく場合もある。

学習目標

種目を通じて運動のスキルアップをはかり指導方法を獲得することやフィジカルトレーニング的効果の獲得は勿論だが、クラス内でとる良いコミュニケーションを通じて、何よりも楽しく意識的にスポーツに取り組めることを目標とする。また将来年齢を重ねても体を動かすことの喜びを発見できるよう、将来豊かな人生を送る素地を養うこともこの授業の目標とする。

内容

1週 ; 【ガイダンス】 (今後の授業内容、評価について、注意事項など) 平服可

2週~3週 ; 【なわとび】個人スポーツ

コーディネーション、基本の飛び方から技の取得、なわとび検定

4週~5週 ; 【公式テニス】対人スポーツ

ベーシック技術の取得・ダブルスゲーム

6週~8週 ; 【バドミントン】対人スポーツ

基礎技術の取得、シングルゲーム、ダブルスゲーム、リーグ戦

9週~11週 ; 【サッカー・フットサル】チームスポーツ

ボールを使ったコーディネーショントレーニング、基本技術の取得、各種スモールサイトゲーム

12週~14 ; 【卓球・バスケットボール・ゴルフなど】

受講学生の技能、能力に応じて種目を決定し行う

15週 ; 【まとめ】

天候等によっては、グラウンドで行う場合とアリーナで行う場合があるので外履き・体育館履きの両方を必ず準備すること。

運動のできる服装で参加。体調不良等の理由でやむを得ない場合は見学となるが、その際も運動着に必ず着替えること。

「授業の内容と活動記録」「授業の留意点」「感想」を毎時間整理する。筆記用具持参。

評価

平常点（授業に取り組む姿勢・態度・関心）50% / 提出物の内容20% / 実技試験やレポート30%

上記による評価を行い、60%以上を合格点とする

授業内で行うゲームの勝敗等については、マイナスの評価はしない

欠席時間が4回を超えると評価を行わない（遅刻2回で、欠席1回とする）

合格点に満たなかった場合は、再試験を行う

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で適宜指示する。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | 佐藤 典子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Hクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして、学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

毎回いろいろなレクリエ-ションゲ-ムやニュ-スポ-ツを体験することができる。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

| | |
|----|--|
| 1 | ガイダンス(内容・注意事項・評価についての説明) *更衣の必要なし |
| 2 | コミュニケ-ションワ-ク (アイスプレ-キング・ホスピタリティトレ-ニング等) |
| 3 | レクリエ-ションゲ-ム |
| 4 | レクリエ-ションスポ-ツ *天候・施設状況・受講生の希望により種目を決める |
| 5 | ”(フライングディスク・キンポ-ル・ユニホック・インディアカ・スポンジバレ-等) |
| 6 | ” |
| 7 | ” |
| 8 | ” |
| 9 | ” |
| 10 | ” |
| 11 | 受講生考案 レクリエ-ションスポ-ツの実施 |
| 12 | ” |
| 13 | ” |
| 14 | ” |
| 15 | まとめ |

評価

授業態度50点、授業の記録力-ド30点、積極的に授業に参加し楽しもうとする姿勢を20点とし、重要視します。また、技能レベルでは評価をしない。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は必要としない。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Jクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目であり、受講生それぞれが意欲や興味、能力に応じて「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。学科や学年を超えた多彩なクラス編成が本科目の特徴であり、スポーツや身体運動を通して学科や学年の異なる受講生の交流が深まることを期待している。教員免許や各種資格取得の必修科目にもなっている。

科目の概要

ボールを手や道具で打つ動作を主体にしたスポーツ種目を継続的に実施する。具体的には、ゴルフ・バドミントン・ソフトバレーボール等を4～5週間を単位にして行う予定である。

学修目標

- 1) クラス内の交流を基盤にして、身体を動かす積極的な姿勢を身につけること
- 2) 自らの意欲・能力に応じて、身体を動かすことの楽しみを見つけ、実技技能を高めること
- 3) 運動を言葉で表現する活動により、スポーツの新しいとらえ方に気づき、理解すること

内容

「身体運動2J」では、自らの身体を自由に動かす技能を高めることをテーマにして、「ゴルフ」、「バドミントン」、「ソフトバレーボール」に取り組んでみる。恐らく初めての経験となるゴルフの練習を通して、頭で考えながら身体を動かす習慣を身につけ、ある一定の動きや技ができるようになるプロセスを言葉で表現する意識を高めてほしいと考えている。

こうした活動を繰り返すことにより、目標とする動作がいつも同じタイミングやテンポでできるようになっていく。それには、動作のコツやポイントを探しながら考えて運動する習慣を身につけたり、仲間の運動の様子を観察したりする活動が重要になる。将来、教職を希望する者には、指導することの意味を考える機会が提供できると考えている。

授業の始めには、準備運動と体力づくり(なわとび等)を意図した活動を行い、その後で主とする運動種目(ゴルフ、バドミントンなど)を学習する形式で進めていく。天候に応じて、学習内容を入れ替える場合がある。

第1週 : オリエンテーション

第2～6週 : ゴルフ(基礎技術 ショートゲーム)

第7～11週 : バドミントン・なわとび(体力づくり)

第12～15週 : ソフトバレーボール・なわとび(体力づくり)

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グラウンドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グラウンド用と体育館用

の2種類の靴を用意すること。見学者も運動着に着替えて出席すること。

授業ノートは授業担当者で用意する。筆記具を必ず用意すること。

履修人数の上限を40～50名程度とする。

評価

平常点（授業への取り組みで評価：運動量、協働性、意欲や関心など）60点、ノート整理（提出2回）20点、レポート20点による評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に使用しない。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | 渡邊 孝枝 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Mクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

さまざまなダンスやダンス創作を3～5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

「美しさ」とは何なのだろうか。

日々の化粧、お洒落。女性は「美しく」いることに一生懸命である。

しかし飾ることに熱中するあまり、自分の「からだ」そのものに無理をさせてはいないだろうか。

このクラスでは、片時も離れることのできない自分の「からだ」を労りながら、今まで気づけなかった「からだ」の感覚や可能性を探ることを目的とする。

そのためにまず、授業の最初に健やかな「からだ」の土台を作るストレッチングやエクササイズを行った後、新たな「からだ」の感覚や可能性を、ダンスやダンス創作において探っていく。

そして、自分の「からだ」への労りや気づきがやがて、仲間の「からだ」への労りや気づきへと繋がって行くことを実感して欲しい。

第1週 オリエンテーション(平服/筆記用具持参)

第2週～第5週

音楽に合わせて身体を動かすことの楽しさを味わう。また、身体を使った様々な「あそび」の中から、踊っているように見える動きを発見し、ダンスへと発展させて行く。

第6週～第9週

「あそび」を通して得たダンスに見える動きの他に、日常の動作やしぐさからもダンスへと発展させて行く。

第10週～第15週

テレビで流れるコマーシャル、映画、音楽など、私たちにとって身近なものの中にダンスがどのような形で存在しているのかを探る。そして、それらをもとに課題を設定し、グループワークや発表などを行う。

第2週以降、毎回クラスの初めにYOGAやクラシックバレエなどを取り入れたストレッチングやエクササイズを行い、最後にクールダウン/マッサージなどを取り入れる。

評価

平常点50%（グループワークへの貢献、授業に対する積極性、意欲、態度など）、毎回の授業における理解や気づきに関するコメント表の作成及びまとめのレポート50%、60%以上を合格とする。

なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）？

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Tクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この授業では、様々なスポーツ活動の場面で要求されるストレッチや補強運動の基本的理論とその実際について学習する。

科目の概要

パフォーマンスを高めるあるいは怪我や事故の予防のための準備運動、ストレッチ、自重を使ったウエイトトレーニング、器具を用いたウエイトトレーニング、SAQトレーニング、サーキットトレーニング等について理論と具体的な実践方法について学習する。

学修目標

- ・怪我や事故を予防するための準備運動を説明できる。
- ・各トレーニング種目に関する正しいフォームを説明できる。
- ・各ストレッチ種目に関する正しいフォームを説明できる。
- ・対象者と目的に応じたサーキットトレーニングを説明できる。

内容

第 1 回：オリエンテーション(準備運動種目の説明等)

第 2 回：補強運動の基本的理論とその実際

第 3 回：PNFストレッチ，ダイナミックストレッチ，スタティックストレッチ

第 4 回：自重を使ったウエイトトレーニング(1)

第 5 回：自重を使ったウエイトトレーニング(2)

第 6 回：器具を使ったウエイトトレーニング(1)

第 7 回：器具を使ったウエイトトレーニング(2)

第 8 回：器具を使ったウエイトトレーニング(3)

第 9 回：チューブトレーニング(1)

第 10 回：チューブトレーニング(2)

第 11 回：サーキットトレーニング(1)

第 12 回：サーキットトレーニング(2)

第 13 回：SAQトレーニング(1)

第 14 回：SAQトレーニング(2)

第 15 回：まとめ

天候と進度，人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグラウンドか体育館を使いますので，毎週，グラウンド用，体育館用2種類の靴を用意して下さい。また，前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので，2回目の授業までに用意して下さい)。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と，自らの気付きを記入する欄があるので，後期の

間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては授業への参加態度を重視する。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。？

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Lクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

誰でもができる基本的な運動を様々な方法で行うことにより、自分自身の身体の現状を認識し、体力の維持・増進を図り、且つ、“遊び”や“気晴らし”としての運動を意識的に自身の生活の中で利用できるようにする。さらに相手の力や体重を利用することや、同一のリズムを共有するという体験から仲間との交流・コミュニケーションを図るねらいも併せ持つものである。

学修目標

- ・身体運動を通じてクラスの仲間との円滑なコミュニケーションを図る
- ・自身の身体及び仲間の身体に対する、運動による変化を敏感にキャッチできるようにする
- ・からだを動かすことの楽しみを体験する

内容

第1週目 オリエンテーション(平服にてメインアリーナに集合)

第2? 5週目

- ・仲間づくりのゲームを利用したの運動
- ・ジャンケンゲーム、手合わせゲーム等楽しみながら身体を動かす
- ・小筋運動から大筋運動へ、少人数から大人数へとゲームを発展させながら仲間とのコミュニケーションを図る

第6～9週目 二人組の運動を元に身体の器用性、協応性、柔軟性を養い、バランス感覚を刺激する

第10～14週目 フォークダンスを中心に世界各国の様々なリズムを楽しむ

パティケーキ・ポルカ、ネリーグレイ・ミクサー、
 ルムバ・ミクサー、タンゴ・ミクサー、
 ロード・トゥ・ディ・アイルス
 ヒンキー・ディンキー・パーリープー
 マンボ、ジルバ、ブルース、

第15週目 まとめ

評価

平常点（授業に対する意欲、関心、態度を含む）70%、毎回のまとめ記入30%、実技テスト10%とし、総合的に評価する。忘れもの、遅刻は減点とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で適宜指示する。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Uクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技(サッカー、バレー、バスケなど)を中心とした実技を、3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

「身体運動2N」では、集団球技を中心に実技を進める。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。

まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば、チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて、独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。

このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型：サッカーやバスケットボール、アルティメット
- ・ネット型：インディアカやバレーボール、
- ・混合型：ドッジボールやジャグリング、

これらの中から3~4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入する欄があるので、後期の間最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Vクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技(サッカー、バレー、バスケなど)を中心とした実技を、3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

この授業では、集団球技を中心に実技を進める。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。

まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば、チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて、独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。

このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型：サッカー、バスケットボール、ホッケー
- ・ネット型：バレーボール
- ・ベースボール型：ティーボール
- ・混合型：ドッジボール

これらの中から3~4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週，グラウンド用，体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と，自らの気付きを記入する欄があるので，後期の間最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）を総合して評価し，合計60%以上を合格とする。なお，平常点においては実技への参加態度を重視し，技能レベルや勝敗，記録での評価はしない。なお，欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。？

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Nクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

さまざまなダンスやダンス創作を3～5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

「美しさ」とは何なのだろうか。

日々の化粧、お洒落。女性は「美しく」いることに一生懸命である。

しかし飾ることに熱中するあまり、自分の「からだ」そのものに無理をさせてはいないだろうか。

このクラスでは、片時も離れることのできない自分の「からだ」を労りながら、今まで気づけなかった「からだ」の感覚や可能性を探ることを目的とする。

そのためにまず、授業の最初に健やかな「からだ」の土台を作るストレッチングやエクササイズを行った後、新たな「からだ」の感覚や可能性を、ダンスやダンス創作において探っていく。

そして、自分の「からだ」への労りや気づきがやがて、仲間の「からだ」への労りや気づきへと繋がって行くことを実感して欲しい。

第1週 オリエンテーション(平服/筆記用具持参)

第2週～第5週

音楽に合わせて身体を動かすことの楽しさを味わう。また、身体を使った様々な「あそび」の中から、踊っているように見える動きを発見し、ダンスへと発展させて行く。

第6週～第9週

「あそび」を通して得たダンスに見える動きの他に、日常の動作やしぐさからもダンスへと発展させて行く。

第10週～第15週

テレビで流れるコマーシャル、映画、音楽など、私たちにとって身近なものの中にダンスがどのような形で存在しているのかを探る。そして、それらをもとに課題を設定し、グループワークや発表などを行う。

第2週以降、毎回クラスの初めにYOGAやクラシックバレエなどを取り入れたストレッチングやエクササイズを行い、最後にクールダウン/マッサージなどを取り入れる。

評価

平常点50%（グループワークへの貢献、授業に対する積極性、意欲、態度など）、毎回の授業における理解や気づきに関するコメント表の作成及びまとめのレポート50%、60%以上を合格とする。

なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）？

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Rクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技(サッカー、バレー、バスケなど)を中心とした実技を、3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

集団球技を中心に実技を進める。テーマは「競創」とする。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。

まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば、チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて、独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。

このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型：サッカーやバスケットボール、アルティメット
- ・ネット型：テニス、バレーボール、
- ・混合型：ドッジボールやジャグリング、

これらの中から3~4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入する欄があるので、後期の間最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | 飯田 路佳 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Sクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

リズムエクササイズ(リズムに合わせた運動)を中心とした実技を、3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

リズムに合わせた運動をだんだんダンス的に動いたり、
トレーニング的に動くなどして、
からだを引き締めるようにする等、
様々なダンス的身体運動へのアプローチをして行く。

第1週目 オリエンテーション

第2? 5週目 リズムエクササイズ

第6? 7週目 トレーニング的エクササイズ

第8? 10週目 リズムムーブメント

第11? 13週目 ダンスムーブメント

第14? 15週目 まとめ

からだの変化も見るために本人の希望により、測定を入れる可能性もある。

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度を含む)60%、毎回のまとめ記入30%、実技テスト10%とし、総合的に評価する。忘れものは減点とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で適宜指示する。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Qクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

リズムエクササイズ(リズムに合わせた運動)を中心とした実技を、3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

リズムに合わせた運動をだんだんダンス的に動いたり、
トレーニング的に動くなどして、
からだを引き締めるようにする等、
様々なダンス的身体運動へのアプローチをして行く。

第1週目 オリエンテーション

第2? 5週目 リズムエクササイズ

第6? 7週目 トレーニング的エクササイズ

第8? 10週目 リズムムーブメント

第11? 13週目 ダンスムーブメント

第14? 15週目 まとめ

からだの変化も見るために本人の希望により、測定を入れる可能性もある。

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度を含む)60%、毎回のまとめ記入30%、実技テスト10%とし、総合的に評価する。忘れものは減点とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で適宜指示する。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Pクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技(サッカー、バレー、バスケなど)を中心とした実技を、3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

集団球技を中心に実技を進める。テーマは「競創」とする。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。

まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば、チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて、独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。

このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型：サッカーやバスケットボール、アルティメット
- ・ネット型：テニス、バレーボール、
- ・混合型：ドッジボールやジャグリング、

これらの中から3~4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入する欄があるので、後期の間で最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%（実技に対する意欲・関心・態度）を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。なお、平常点においては実技への参加態度を重視し、技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。なお、欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 人間と運動B | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Cクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

ハンドボールを中心に様々な集団球技を体験し、十分な運動量を確保したい。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

天候や施設状況によって、授業内容が変わることがあります。毎時間感想を記入しそれを元に出席管理を行います。

| | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション、からだほぐし運動 |
| 2 | ボール慣らし(1) |
| 3 | ボール慣らし(2)、シュートの種類・・・ステップシュート、ジャンプシュート |
| 4 | パス・シュート練習(1) |
| 5 | パス・シュート練習(2) |
| 6 | コンビネーション練習・・・関係プレーからシュートまで |
| 7 | ゲーム(1) |
| 8 | ゲーム(2) |
| 9 | ゲーム(3) |
| 10 | ゲーム(4) |
| 11 | ゲーム(5)、まとめ |
| 12 | 火気取扱演習 |
| 13 | ボールゲーム(1) |
| 14 | ボールゲーム(2) |
| 15 | まとめ |

評価

授業態度60点、実技テスト20点など総合的に評価しますが、積極的に授業に参加し、スポーツを楽しもうとする姿勢20点を重要視します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

初回授業の案内

初回授業は記念ホール/メインアリーナに集まってください。運動ができる服装で、運動靴を準備してください。また、出席カードを作成しますので筆記用具・顔写真も忘れず準備してください。

私物(靴・手荷物)はすべて実施場所へ持参してください。

| | | | |
|---------|--|---------|-------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では英文を正確に読み取る練習を行います。その際、単語や熟語をの知識も重要ですが、英文の構造を把握する力が不可欠です。前期は、構造を読み解くための基本的な知識を学び、辞書を引けば大筋の内容がわかることを目指します。後期は、その知識を利用してたくさんの英文を読むことに慣れたいと思います。

内容

英語で書かれた、日本人にも馴染みのある物語を読み進めていきます。随時、英文構造の理解に必要な補助的なプリントを配布します。授業でおおまかな訳が発表できるよう、しっかり予習してくることを望みます。

第1週：ガイダンス

第2週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第3週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第4週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第5週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第6週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第7週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第8週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第9週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第10週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第11週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第12週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第13週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第14週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト

第15週：まとめ

評価

参加態度 40%

定期試験 60%

(60点以上を合格とします。)

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

プリントを適宜配布します。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Bクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ~ (英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語 (英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目を必ず履修して下さい。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力を養成します。

外国語 (英語)では、入学時のプレースメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。リーディングの文章は宿題として必ず単語の意味を確認し、和訳してることが求められます。授業には必ず辞書を持参すること。

- ・文の基本要素 ・be動詞 ・一般動詞(現在/過去) ・進行形 ・未来形 ・助動詞
- ・名詞・冠詞 ・代名詞 ・前置詞 ・形容詞・副詞 ・比較 ・前期のまとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期・後期試験： 60%
- (2) 平常点： 40% (単語テスト(毎週)、文法事項の小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

《テキスト》佐藤哲三、愛甲ゆかり著 『English Primer Revised Edition 大
学生の英語入門 改訂新版 』(南雲堂)

| | | | |
|---------|--|---------|-------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Cクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、2年次以降の「外国語 I ~ IV (英語)」を選択します。

科目の概要

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

学修目標

英語 IA では、入学時のプレースメントテストによりクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

易しく書き直した英語のお話『三銃士』の前半・副教材『5分間 英文法ビフォー・アフター』の前半を使います。副教材は、毎回1ページ (1 章分) 進みます。

前期のみの再履修で後期の英語 IB を続けて再履修しない方は、希望に応じて授業使用プリントの原稿をメールでお送りします。

第1週 . 1. Diamonds and Gold ・第1章 8 品詞

2 -- 3 . 2. The Journey to Calais ・第2章 文とその構成要素・第3章 文型と文の種類

4 . 3. The Duke of Buckingham ・第4章 句と節

5 -- 7 . 4. The Dance and a Meeting ・第5章 動詞と動詞の活用 ・第6章 時制 ・第7章 受動態

8 -- 9 . 5. With Old Friends ・第8章 助動詞 ・第9章 [叙]法

10 -- 12 . 6. D'Artagnan Meets Milady ・第10章 否定 ・第11章 名詞 ・第12章 代名詞

13 -- 14 . 7. A Trap in La Rochelle ・第13章 疑問詞 ・第14章 関係詞

第15週 まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60 % 以上を合格とします。

(1) まとめの成果 : 60%

(2) 平常点 : 40% (副教材 (毎週) 、小テスト、課題提出)

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

[教科書] 『三銃士』 (_The Three Musketeers_ written by Alexandre

Dumas, retold by Nicholas Murgatroyd and published by Macmillan Publishers Limited in 2009.)

豊永彰 (2010)、『5分間 英文法ビフォー・アフター(Better Grammar)』、南雲堂 . 税別定価700円 .

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Dクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目を必ず履修して下さい。外国語I(英語)は英語発信・受信するにあいに必要となる英語の構造知識(文法・語法)を整理、復習します。さらに同時に、英語の総合力のために語彙力、読解力に加え、英文を書く力と聴き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

1. Introduction (導入説明)
2. Deep Trouble (動詞: be動詞と一般動詞)
3. From the Heart (疑問文)
4. Housemates (名詞や冠詞)
5. mystery in Muscat (代名詞)
6. Studio Five (進行形)
7. True Heroes of Sports (助動詞)
8. The Drive to new York(形容詞と副詞)
9. A Close Shave (比較)
10. White Fang (不定詞、分詞、動名詞)
11. The Curious Case of Benjamin (命令)
12. Weddings (受動態)
13. Far from the Crowd (完了表現)
14. Typhoon (前置詞や接続詞)
15. まとめ
16. Introduction (導入説明)
17. Knowledge and Comprehension
18. language: Spoken and Written
19. Information and Experience
20. Between Eye and Brain
21. Bottlenecks of Memory
22. Letter Identification
23. Word Identification
24. The Identification of Meaning
25. Learning about the World
26. How to use Written language
27. How to read Novels
28. Reading, Writing, Thinking
29. How to memoerize Words
30. まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期・後期試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

森田勝之Reading Solutions 出版社提供プリント版（授業で渡します）

| | | | |
|---------|--|---------|-------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Eクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格)(1)この科目は、2010年度以前に入学した「英語IA(講読)」再履修者用科目で、3レベルのうちの初級クラスです。各自のクラスレベルに従って登録してください。新カリキュラム「外国語I(英語)」と同時開講です。

(2)この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目(英語)を必ず履修して下さい。

(科目の概要)英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

(学修目標)入学時のプレースメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

サンフランシスコ在住のLovelleとKenが友人のKiyoshiとその家族に会いに来日。彼らの帰国後、今度はKiyoshiの息子で大学生のTakuyaがサンフランシスコを訪問するというストーリーのなかで交わされる会話を通して、文法事項を一通り復習し、語彙を増やし、英語力をさらに高めていけるような教科書を使いますから、楽しく勉強できると思います。

(1)授業内容が理解できていればできるような練習問題などを、原則としてほぼ毎回行い、提出してもらいます。復習をしていないといけません。(2)半期で1回から3回程度(様子を見て回数等は決めます)、知識の定着のためのテストを行う予定です。その場合は事前に予告します。(3)課題も出します。

以上(1)(2)(3)と授業への参加度が平常点(40%)となります。定期試験(60%)も行い、返却して解説します。

(授業進行予定)(前期)第1回 オリエンテーション (授業進行予定は変更の可能性もあります。また、教科書の順番通りに進めるとは限りません。詳細はオリエンテーションでお話しします。)/第2回Unit 1: Getting in Touch with an Old Friend(旧友に連絡)(be動詞・一般動詞現在形)第3回 Unit 1(2)(過去形)第4回 Unit 2 : It's Good to See You Again!(楽しい再会)(1)(現在進行形、過去進行形)第5回 Unit 2 (2)(未来表現)第6回Unit 3: Sight seeing in Kansai(関西を観光)(1)(完了形) / 第7回 Unit 3(2)(命令文)第8回 Unit 4: Off to San Francisco(サンフランシスコへ)(疑問文)第9回Unit 5: After a Long Flight(長いフライトの後で)(冠詞)/第10回 Unit 6: A Warm

Welcome(歓迎)(可算名詞・不可算名詞) 第11回 Unit 7 : Out and About in
San Francisco(サンフランシスコ市内観光) (1)(代名詞) 第12回 Unit 7(2)(自動詞
・他動詞) 第13回 Unit 8: A Visit to the University of Califor
nia(カリフォルニア大学へ)(これまでの文法事項復習) 第14回・第15回 総復習、まとめなど

評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 定期試験 : 60% (2) 平常点 : 40% (「平常点」とは定期試験以外のテスト、課題、授業への参加度。
詳細は「内容」を参照してください。)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書) 行時潔、Nicholas Bovee、長田順子 『Take a Trip Around San Fra
ncisco! タクヤの単身海外旅行』(松柏社、1900円)(フジショップ扱い)その他、プリント。

(辞書) 今お持ちの辞書を第一回の授業から持って来てください。

(推薦書) 授業で適宜紹介します。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Fクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ~ (英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語 (英語・フランス語・スペイン語・中国語)のうち、この科目を必ず履修して下さい。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

外国語 (英語)では、入学時のプレースメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。リーディングの文章は宿題として必ず単語の意味を確認し、和訳してることが求められます。授業には必ず辞書を持参すること。

- ・be動詞 ・一般動詞(現在/過去) ・疑問詞 ・助動詞1 ・命令文 ・進行形 ・未来形
- ・前期のまとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期・後期試験： 60%
- (2) 平常点： 40% (単語テスト(毎週)、文法事項の小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

《テキスト》 角山照彦他著 『Let's Read Aloud & Learn English! 音読で始める基礎英語』(成美堂)

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Gクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ~ (英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は、「外国語 (英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目(英語)を必ず履修してください。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読み取る力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

外国語 (英語)では、入学時のプレースメントテストにより2レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この上級クラスでは語彙力、平易な英文を読み取る力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身につけるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習、復習を欠かさず行ってください。

- ・文の基本要素
- ・be動詞(平叙文、否定文、疑問文)
- ・一般動詞(平叙文、否定文、疑問文)
- ・wh疑問文
- ・名詞、冠詞
- ・代名詞
- ・進行形(平叙文、否定文、疑問文)
- ・助動詞
- ・形容詞、副詞
- ・比較
- ・不定詞
- ・分詞
- ・動名詞
- ・命令文
- ・受動態
- ・完了形
- ・関係代名詞
- ・一般疑問文
- ・前置詞
- ・接続詞

評価

以下の割合で点数化し、総合成績で60点以上を合格とします。合格点に満たなくても、期末試験の再試験は実施しません。インフルエンザなど出席停止となる病気への罹患、忌引きといった特別な理由があつて期末試験を受験できなかった場合にのみ、追試験を実施します。なお、期末試験前に4回を超えて欠席した場合には、期末試験の受験資格を失います。

(1)前期末・後期末試験：60%

(2)平常点：40%（課題20%、授業への取り組み20%）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：本田吉彦・土屋武久『College Grammar Pathfinder（基本文法から始める大学英語）』（金星堂）、1,900円

副教材：角岡賢一『The Workbook for Basic Grammar（コンパクト基礎英文法復習ドリル）』（松柏社）、850円

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Hクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、3レベル(初級・中級・上級)のうちの初級クラスです。1年次の英語IAの単位が取れなかった学生は1年次のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英文法の基本的な知識を確認しながら、同時に語彙力、少し長めの英文を読みとる力と短文が書ける力を養成します。

英語IAでは、入学時のプレースメントテストにより3レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは語彙力、少し長めで様々なトピクスを扱った英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

映画、スポーツ、最先端のテクノロジーなど現代の日本についての興味深いエッセイを読みながら、基礎的な英文法の復習、そして語彙、イディオム、構文などを踏まえた読解力の向上を目指します。

授業計画

- 1, 2回.....ガイダンス、1 . Masahiro Motoki (名詞・代名詞)
- 3, 4回..... 2 . Tatsunori Hara (動詞)
- 5, 6回..... 3 . Daisuke Takahashi (助動詞)
- 7, 8回..... 4 . 2011 Women's World Cup (前置詞)
- 9, 10回..... 5 . Japn's Smart Grid (形容詞)
- 11, 12回..... 6 . Toppan (受動態)
- 13, 14回..... 7 . Young Farmers (進行形)
- 15回総復習

評価

評価 以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験： 60%
- (2) 平常点： 40% (単語テスト、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書：JoAnn Parochetti、千葉剛他『PROSPEROUS JAPAN(繁栄する日本)』(南雲堂)

必要に応じてプリント配布

参考書、辞典等 授業で適宜紹介します。

| | | | |
|---------|--|---------|-------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | 榊原 理枝子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 1Jクラス |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格)(1)この科目は、2010年度以前に入学した「英語IA(講読)」再履修者用科目で、3レベルのうちの中級クラスです。各自のクラスレベルに従って登録してください。新カリキュラム「外国語I(英語)」と同時開講です。

(2)この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目(英語)を必ず履修して下さい。

(科目の概要)英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

(学修目標)入学時のプレースメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

大学生の男女Ashley、Brad、Karen、Tomたちの会話を楽しみながら、文法事項を一通り復習し、語彙を増やし、英語力をさらに高めていけるような教科書を使いますから、楽しく勉強できると思います。

(1)授業内容が理解できていればできるような練習問題などを、原則としてほぼ毎回行い、提出してもらいます。復習をしていないといけません。(2)半期で1回から3回程度(様子を見て回数等は決めます)、知識の定着のためのテストを行う予定です。その場合は事前に予告します。(3)課題も出します。

以上(1)(2)(3)と授業への参加度が平常点(40%)となります。定期試験(60%)も行い、返却して解説します。

(授業進行予定)(前期)第1回 オリエンテーション (授業進行予定は変更の可能性もあります。オリエンテーションで詳しいこととお話しします。また以下の授業進行予定のように、教科書は順番通りに進めるとは限りません。)/第2回 be動詞を使った表現(Unit 1)/第3回 一般動詞現在形と現在進行形(Unit2)/第4回 一般動詞過去形と過去進行形(Unit 5)/第5回 be going to とwill(Unit 9)/第6回過去形と現在完了(Unit 6) / 第7回 命令文(Unit 2)/ 第8回 Yes-No疑問文(Unit 12)/第9回Wh-疑問文(Unit 14)/第10回 可算名詞と不可算名詞(Unit 8) /第11回 冠詞など(Unit 15)/第12回代名詞(Unit 4) /第13回 自動詞と他動詞(Unit 16) / 第14回・第15回 総復習、まとめなど

評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 定期試験：60%(2) 平常点：40% (「平常点」とは定期試験以外のテスト、提出物、授業への参加度。詳細は「内容」を参照してください。)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

(教科書)Robert Hickling、大崎さつき『English Upload』（金星堂、1900円）(フジシヨップ扱い) その他、プリント。

(辞書)今お持ちの辞書を第一回の授業から持って来てください。

(推薦書)授業で適宜紹介します。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Kクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目を必ず履修して下さい。外国語I(英語)は英語発信・受信するにあいに必要となる英語の構造知識(文法・語法)を整理、復習します。さらに同時に、英語の総合力のために語彙力、読解力に加え、英文を書く力と聴き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。

1. Introduction (導入説明)
2. The Road Ahead (動詞: be動詞と一般動詞)
3. Running with the Olympic Flame (疑問文)
4. Walk Your Way to the Figure You Want (名詞や冠詞)
5. English in Singaporean Culture (代名詞)
6. Nature's Way (進行形)
7. The Monkeys Who Made a Dictionary (助動詞)
8. Cloning (形容詞と副詞)
9. Nonverbal Communication(比較)
10. Pushing an Elephant Up the Stairs (不定詞、分詞、動名詞)
11. True Love (命令)
12. Henri's Windows (受動態)
13. Pet Therapy (完了表現)
14. Small Things with Great Love(前置詞や接続詞)
15. まとめ

16. Introduction (導入説明)
17. Knowledge and Comprehension
18. language: Spoken and Written
19. Information and Experience
20. Between Eye and Brain
21. Bottlenecks of Memory
22. Letter Identification
23. Word Identification
24. The Identification of Meaning
25. Learning about the World
26. How to use Written language
27. How to read Novels
28. Reading, Writing, Thinking
29. How to memorize Words
30. まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期・後期試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

十文字学園女子大学用プリント（森田勝之、授業中に配布）

| | | | |
|---------|--|---------|-------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Lクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ~ (英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は、「外国語 (英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目(英語)を必ず履修してください。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力を養成します。

外国語 (英語)では、入学時のプレースメントテストにより2レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身につけるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習、復習を欠かさず行ってください。

- ・文の基本要素
- ・be動詞(平叙文、否定文、疑問文)
- ・一般動詞(平叙文、否定文、疑問文)
- ・wh疑問文
- ・名詞、冠詞
- ・代名詞
- ・進行形(平叙文、否定文、疑問文)
- ・助動詞
- ・形容詞、副詞
- ・比較
- ・不定詞
- ・分詞
- ・動名詞
- ・命令文
- ・受動態
- ・完了形
- ・関係代名詞
- ・一般疑問文
- ・前置詞
- ・接続詞

評価

以下の割合で点数化し、総合成績で60点以上を合格とします。合格点に満たなくても、期末試験の再試験は実施しません。インフルエンザなど出席停止となる病気への罹患、忌引きといった特別な理由があつて期末試験を受験できなかった場合にのみ、追試験を実施します。なお、期末試験前に4回を超えて欠席した場合には、期末試験の受験資格を失います。

(1)前期末・後期末試験：60%

(2)平常点：40%（課題20%、授業への取り組み20%）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：本田吉彦・土屋武久 『College Grammar Pathfinder（基本文法から始める大学英語）』（金星堂）、1,900円

副教材：角岡賢一 『The Workbook for Basic Grammar（コンパクト基礎文法復習ドリル）』（松柏社）、850円

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Mクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格)(1)この科目は、2010年度以前に入学した「英語IA(講読)」再履修者用科目で、3レベルのうちの中級クラスです。各自のクラスレベルに従って登録してください。新カリキュラム「外国語I(英語)」と同時開講です。

(2)この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目(英語)を必ず履修して下さい。

(科目の概要)英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

(学修目標)入学時のプレースメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

日常の様々な場面で使いそうな会話を練習をしたり、ヘレン・ケラーの伝記や地図の歴史など、面白い読み物を楽しみながら、文法事項を一通り復習し、語彙を増やし、英語力をさらに高めていけるような教科書を使いますから、楽しく勉強できると思います。

(1)授業内容が理解できていればできるような練習問題などを、原則としてほぼ毎回行い、提出してもらいます。復習をしていないといけません。(2)半期で1回から3回程度(様子を見て回数等は決めます)、知識の定着のためのテストを行う予定です。その場合は事前に予告します。(3)課題も出します。

以上(1)(2)(3)と授業への参加度が平常点(40%)となります。定期試験(60%)も行い、返却して解説します。

(授業進行予定)(前期)第1回 オリエンテーション(授業進行予定は変更の可能性もあります。オリエンテーションで詳しいこととお話しします。また以下の授業進行予定のように、教科書は順番通りに進めるとは限りません。)/第2回 序章:基本文型 第3回 Unit 1: be動詞(現在形・過去形) 第4回 Unit 2:一般動詞(現在形・過去形) 第5回 Unit 3(未来形・進行形) 第6回 Unit 8(現在完了形・過去完了形)(1)第7回 Unit 8(2) 第8回 疑問文・命令文(教科書にはありません)第9回Unit 4(助動詞) 第10回 Unit 9(名詞・冠詞・数詞)第11回 Unit 10(代名詞) 第12回 Review 1 第13回 Unit 12(前置詞) 第14回・第15回 総復習、まとめなど

評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 定期試験: 60%(2) 平常点: 40%(「平常点」とは定期試験以外のテスト、課題、授業への参加度。

詳細は「内容」を参照してください。)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書) 芝垣 茂、Nan Y. Hiraiwa 他『English Grammar: Onward & Upward始めよう! 文法からコミュニケーションへ』(センテージラーニング、2100円)(フジシヨップ扱い)その他、プリント。

(辞書) 今お持ちの辞書を第一回の授業から持って来てください。

(推薦書) 授業で適宜紹介します。

| | | | |
|---------|--|---------|-------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Nクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ~ (英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語 (英語・フランス語・スペイン語・中国語)のうち、この科目を必ず履修して下さい。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

外国語 (英語)では、入学時のプレースメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます (順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。リーディングの文章は宿題として必ず単語の意味を確認し、和訳してることが求められます。授業には必ず辞書を持参すること。

- ・ be動詞 ・ 一般動詞 (現在 / 過去) ・ 疑問詞 ・ 助動詞 1 ・ 命令文 ・ 進行形 ・ 未来形
- ・ 前期のまとめ

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期・後期試験： 60%
- (2) 平常点： 40% (単語テスト (毎週)、文法事項の小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

《テキスト》 角山照彦他著 『Let's Read Aloud & Learn English! 音読で始める基礎英語』 (成美堂)

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Pクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ~ (英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語 (英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目を必ず履修して下さい。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

英語1Aでは、入学時のプレースメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この上級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。

1. 文の基本要素
2. be動詞 (平叙文・否定文・疑問文)
3. 一般動詞 (平叙文・否定文・疑問文)
4. wh疑問文
5. 名詞・冠詞
6. 代名詞
7. 進行形 (平叙文・否定文・疑問文)
8. 助動詞
9. 形容詞・副詞
10. 比較
11. 命令文
12. 接続詞
13. 関係代名詞
14. 接続詞
15. 比較
16. 不定詞
17. 分詞
18. 動名詞
19. 命令文
20. 受動態
21. 完了形
22. 関係代名詞
23. 疑問文
24. 前置詞
25. 接続詞

また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

上記にあげた文法項目を、指定の教科書のユニットに沿って、次のスケジュールで学習します。

- 第1週 Introduction 第2週 Unit1 第3週 Unit2 第4週 Unit3 第5週 Unit4
 第6週 Unit5 第7週 Unit6 第8週 Unit7 第9週 Unit8 第10週 Unit9
 第11週 Unit10 第12週 Unit11 第13週 Unit12 第14週 総復習(1) 第15週 総復習(2)

評価

以下の割合で点数化し、60パーセント以上を合格とします。

(1) 前期・後期試験：60パーセント

(2) 平常点： 40 パーセント（単語テスト[毎週]、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】小中秀彦著 『Life with Snoopy スヌーピーと学ぶライティングとリスニング』南雲堂

【参考図書・辞書等】 授業で適宜紹介します。

| | | | |
|---------|--|---------|-------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Qクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では英文を正確に読み取る練習を行います。その際、単語や熟語をの知識も重要ですが、英文の構造を把握する力が不可欠です。前期は、構造を読み解くための基本的な知識を学び、辞書を引けば大筋の内容がわかることを目指します。後期は、その知識を利用してたくさんの英文を読むことに慣れたいと思います。

内容

英語で書かれた、日本人にも馴染みのある物語を読み進めていきます。随時、英文構造の理解に必要な補助的なプリントを配布します。授業でおおまかな訳が発表できるよう、しっかり予習してくることを望みます。

第1週：ガイダンス

第2週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第3週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第4週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第5週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第6週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第7週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第8週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第9週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第10週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第11週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第12週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第13週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第14週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト

第15週：まとめ

評価

参加態度 40%

定期試験 60%

(60点以上を合格とします。)

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

プリントを適宜配布します。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 1Rクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ~ (英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語 (英語・フランス語・スペイン語・中国語)のうち、この科目を必ず履修して下さい。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

外国語 (英語)では、入学時のプレースメントテストにより2レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この上級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使ったテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。リーディングの文章は宿題として必ず単語の意味を確認し、和訳してることが求められます。授業には必ず辞書を持参すること。

- ・文の基本要素 ・be動詞 ・一般動詞(現在/過去) ・進行形 ・未来形 ・助動詞
- ・名詞・冠詞 ・代名詞 ・前置詞 ・形容詞・副詞 ・比較 ・前期のまとめ

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期・後期試験： 60%
- (2) 平常点： 40% (単語テスト(毎週)、文法事項の小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

《テキスト》 佐藤哲三、愛甲ゆかり著 『English Primer Revised Edition
大学生の英語入門 改訂新版 』(南雲堂)

| | | | |
|---------|--|---------|-------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | 宮本 正治 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では英文を正確に読み取る練習を行います。その際、単語や熟語をの知識も重要ですが、英文の構造を把握する力が不可欠です。前期は、構造を読み解くための基本的な知識を学び、辞書を引けば大筋の内容がわかることを目指します。後期は、その知識を利用してたくさんの英文を読むことに慣れたいと思います。

内容

英語で書かれた、日本人にも馴染みのある物語を読み進めていきます。随時、英文構造の理解に必要な補助的なプリントを配布します。授業でおおまかな訳が発表できるよう、しっかり予習してくることを望みます。

第1週：ガイダンス

第2週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第3週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第4週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第5週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第6週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第7週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第8週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第9週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第10週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第11週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第12週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第13週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第14週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト

第15週：まとめ

評価

参加態度 40%

定期試験 60%

(60点以上を合格とします。)

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

プリントを適宜配布します。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Bクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ~ (英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語 (英語・フランス語・スペイン語・中国語)のうち、この科目を必ず履修して下さい。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力を養成します。

外国語 (英語)では、入学時のプレースメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。リーディングの文章は宿題として必ず単語の意味を確認し、和訳してることが求められます。授業には必ず辞書を持参すること。

- ・命令文 ・接続詞 ・不定詞 ・動名詞 ・受動態 ・完了形 ・分詞 ・関係代名詞
- ・後期のまとめ

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期・後期試験： 60%
- (2) 平常点： 40% (単語テスト(毎週)、文法事項の小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

《テキスト》佐藤哲三、愛甲ゆかり著 『English Primer Revised Edition 大
学生の英語入門 改訂新版 』(南雲堂)

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Cクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、2年次以降の「外国語Ⅰ～Ⅳ(英語)」を選択します。

科目の概要

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

学修目標

英語ⅠAでは、入学時のプレースメントテストによりクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

易しく書き直した英語のお話『三銃士』の後半・副教材『5分間 英文法ビフォー・アフター』の後半を使います。副教材は、毎回1ページ(1章分)進みます。

教科書と副教材の内容は、最初に配布する資料で確認してください。

後期

第1週 8. Cardinal Richelieu's Secret Visit ・第15章 形容詞

2--4 . 9. Milady's Secret ・第16章 限定詞 ・第17章 副詞 ・第18章 比較

5--6 . 10. Prison ・第19章 不定詞 ・第20章 分詞

7--8 . 11. Escape ・第21章 動名詞 ・第22章 前置詞

9--11 . 12. Milady Murders ・第23章 接続詞と節 ・第24章 呼応 ・第25章 時制の一致と話法

12 . 13. The Truth about Milady ・第26章 倒置・省略・強調

13--14 . 14. The Cardinal and D'Artagnan ・第27章文の転換 ・文法復習

第15週 まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。

(1) まとめの成果： 60%

(2) 平常点： 40% (副教材(毎週)、小テスト、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

[教科書] 『三銃士』 (_The Three Musketeers_ written by Alexandre

Dumas, retold by Nicholas Murgatroyd and published by Macmillan Publishers Limited in 2009.)

豊永彰 (2010)、『5分間 英文法ビフォー・アフター(Better Grammar)』、南雲堂 . 税別定価700円 .

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Dクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目を必ず履修して下さい。外国語I(英語)は英語発信・受信するにあいに必要となる英語の構造知識(文法・語法)を整理、復習します。さらに同時に、英語の総合力のために語彙力、読解力に加え、英文を書く力と聴き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

1. Introduction (導入説明)
2. Intuitions (動詞: be動詞と一般動詞)
3. Cross-cultural style (疑問文)
4. Identification (名詞や冠詞)
5. Social Cognition (代名詞)
6. Studio Five (進行形)
7. True Heroes of Sports (助動詞)
8. Moral responsibility(形容詞と副詞)
9. A Close Shave (比較)
10. White Fang (不定詞、分詞、動名詞)
11. The Curious Case of Benjamin (命令)
12. Weddings (受動態)
13. Far from the Crowd (完了表現)
14. Typhoon (前置詞や接続詞)
15. まとめ
16. Introduction (導入説明)
17. Knowledge and Comprehension
18. language: Spoken and Written
19. Information and Experience
20. Between Eye and Brain
21. Bottlenecks of Memory
22. Letter Identification
23. Word Identification
24. The Identification of Meaning
25. Learning about the World
26. How to use Written language
27. How to read Novels
28. Reading, Writing, Thinking
29. How to memoerize Words
30. まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期・後期試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

森田勝之Reading Solutions 出版社提供プリント版（授業で渡します）

| | | | |
|---------|--|---------|-------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Eクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格)(1)この科目は、2010年度以前に入学した「英語IA(講読)」再履修者用科目で、3レベルのうちの初級クラスです。各自のクラスレベルに従って登録してください。新カリキュラム「外国語I(英語)」と同時開講です。

(2)この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目(英語)を必ず履修して下さい。

(科目の概要)英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

(学修目標)入学時のプレイメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

サンフランシスコ在住のLovelleとKenが友人のKiyoshiとその家族に会いに来日。彼らの帰国後、今度はKiyoshiの息子で大学生のTakuyaがサンフランシスコを訪問するというストーリーのなかで交わされる会話を通して、文法事項を一通り復習し、語彙を増やし、英語力をさらに高めていけるような教科書を使いますから、楽しく勉強できると思います。

(1)授業内容が理解できていればできるような練習問題などを、原則としてほぼ毎回行い、提出してもらいます。復習をしていないといけません。(2)通年で2回から6回程度(様子を見て回数等は決めます)、知識の定着のためのテストを行う予定です。その場合は事前に予告します。(3)課題も出します。

以上(1)(2)(3)と授業への参加度が平常点(40%)となります。定期試験(60%)も行い、返却して解説します。

(授業進行予定)

(後期)第1回 オリエンテーション (授業進行予定は変更の可能性もあります。また、教科書の順番通りに進めるとは限りません。詳細はオリエンテーションでお話しします。) /前期の復習(1) 第2回 Unit 9: A Caf?

Lunch Date(カフェで昼食)(1)(前期の復習-2)第3回 Unit 9 (2)(前置詞)第4回 U

nit10: Beautiful and Historic Monterey(モントレイ、カーメルへ泊旅行)

(助動詞)第5回 Unit 10 (2)(能動態と受動態) 第6回 Unit 11: A Hilly Down

town Workout(スポーツの後はヨガ)(1)(形容詞) 第7回 Unit 11(2)(副詞) 第8回

Unit 12: Wild and Wonderful Yosemite(ヨセミテ国立公園でキャンプ)(比較)

第9回Unit 13: Buying Gifts for Friends and Family(お土産を買っ

て帰ろう) (1) (動名詞と不定詞) 第10回 Unit 13(2)(接続詞) 第11回 Unit14: S

an Francisco Gourmet(レストランでディナー)(1)(関係詞-1) 第12回 Unit 14

(2)(関係詞-2) 第13回 Unit 15: Until We Meet Again(また会う日まで)(仮定法) 第14回・第15回 総復習、まとめなど

評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 定期試験：60%(2) 平常点：40% (「平常点」とは定期試験以外のテスト、課題、授業への参加度。詳細は「内容」を参照してください。)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書) 行時潔、Nicholas Bovee、長田順子 『Take a Trip Around San Francisco! タクヤの単身海外旅行』(松柏社、1900円)(フジシヨップ扱い)その他、プリント。

(辞書)今お持ちの辞書を第一回の授業から持って来てください。

(推薦書)授業で適宜紹介します。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Fクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ～ (英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語 (英語・フランス語・スペイン語・中国語)のうち、この科目を必ず履修して下さい。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

外国語 (英語)では、入学時のプレースメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。リーディングの文章は宿題として必ず単語の意味を確認し、和訳してることが求められます。授業には必ず辞書を持参すること。

- ・現在完了形 ・受動態 ・比較 ・助動詞2 ・動名詞 ・to不定詞 ・接続詞
- ・後期のまとめ

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期・後期試験： 60%
- (2) 平常点： 40% (単語テスト(毎週)、文法事項の小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

《テキスト》 角山照彦他著 『Let's Read Aloud & Learn English! 音読で始める基礎英語』(成美堂)

| | | | |
|---------|--|---------|-------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Gクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ~ (英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は、「外国語 (英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目(英語)を必ず履修してください。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読み取る力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

外国語 (英語)では、入学時のプレースメントテストにより2レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この上級クラスでは語彙力、平易な英文を読み取る力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます (順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身につけるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習、復習を欠かさず行ってください。

- ・文の基本要素
- ・be動詞 (平叙文、否定文、疑問文)
- ・一般動詞 (平叙文、否定文、疑問文)
- ・wh疑問文
- ・名詞、冠詞
- ・代名詞
- ・進行形 (平叙文、否定文、疑問文)
- ・助動詞
- ・形容詞、副詞
- ・比較
- ・不定詞
- ・分詞
- ・動名詞
- ・命令文
- ・受動態
- ・完了形
- ・関係代名詞
- ・一般疑問文
- ・前置詞
- ・接続詞

評価

以下の割合で点数化し、総合成績で60点以上を合格とします。合格点に満たなくても、期末試験の再試験は実施しません。インフルエンザなど出席停止となる病気への罹患、忌引きといった特別な理由があつて期末試験を受験できなかった場合にのみ、追試験を実施します。なお、期末試験前に4回を超えて欠席した場合には、期末試験の受験資格を失います。

(1)前期末・後期末試験：60%

(2)平常点：40%（課題20%、授業への取り組み20%）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：本田吉彦・土屋武久『College Grammar Pathfinder（基本文法から始める大学英語）』（金星堂）、1,900円

副教材：角岡賢一『The Workbook for Basic Grammar（コンパクト基礎英文法復習ドリル）』（松柏社）、850円

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | 島村 豊博 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Hクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、3レベル(初級・中級・上級)のうちの初級クラスです。1年次の英語 Bの単位が取れなかった学生は1年次のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英文法の基本的な知識を確認しながら、同時に語彙力、少し長めの英文を読みとる力と短文が書ける力を養成します。

英語 Bでは、入学時のプレースメントテストにより3レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは語彙力、少し長めで様々なトピクスを扱った英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

映画、スポーツ、最先端のテクノロジーなど現代の日本についての興味深いエッセイを読みながら、基礎的な英文法の復習、そして語彙、イディオム、構文などを踏まえた読解力の向上を目指します。

授業計画

- 1, 2回..... 8 . The Vegetable Factory (比較)
- 3, 4回..... 9 . Organic Produce (不定詞)
- 5, 6回.....10. Forest Revitalization (完了時制)
- 7, 8回.....11 . Eco-Cars (関係代名詞)
- 9, 10回.....12. Algae-based Fuels (動名詞)
- 11, 12回.....13. The Hybrid Railcar (分詞)
- 13, 14回.....14. Biodiversity (接続詞)
- 15回総復習

評価

評価 以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験： 60%
- (2) 平常点： 40% (単語テスト、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書：JoAnn Parochetti、千葉剛他『PROSPEROUS JAPAN(繁栄する日本)』(南雲堂)

必要に応じてプリント配布

参考書、辞典等 授業で適宜紹介します。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Jクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格)(1)この科目は、2010年度以前に入学した「英語IB(講読)」再履修者用科目で、3レベルのうちの中級クラスです。各自のクラスレベルに従って登録してください。新カリキュラム「外国語I(英語)」と同時開講です。

(2)この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目(英語)を必ず履修して下さい。

(科目の概要)英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

(学修目標)入学時のプレイメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

大学生の男女Ashley、Brad、Karen、Tomたちの会話を楽しみながら、文法事項を一通り復習し、語彙を増やし、英語力をさらに高めていけるような教科書を使いますから、楽しく勉強できると思います。

(1)授業内容が理解できていればできるような練習問題などを、原則としてほぼ毎回行い、提出してもらいます。復習をしていないといけません。(2)半期で1回から3回程度(様子を見て回数等は決めます)、知識の定着のためのテストを行う予定です。その場合は事前に予告します。(3)課題も出します。

以上(1)(2)(3)と授業への参加度が平常点(40%)となります。定期試験(60%)も行い、返却して解説します。

(授業進行予定)(後期)

第1回 オリエンテーション(授業進行予定は変更の可能性もあります。オリエンテーションで詳しいこととお話しします。また以下の授業進行予定のように、教科書は順番通りに進めるとは限りません。/ 前期の復習 / 第2回 時を表す前置詞(Unit 7)/ 第3回 場所を表す前置詞(Unit 13)/ 第4回 助動詞(Unit 10)/ 第5回 能動態と受動態(Unit 17) / 第6回 形容詞(Unit 18)/ 第7回 副詞(Unit 21) / 第8回 比較(Unit 20)/ 第9回 動名詞と不定詞(Unit 19) / 第10回 接続詞(Unit 11/22)/ 第11回 関係詞(Unit 23) / 第12回 相手に同意する表現(Unit 24)/ 第13回 仮定法(教科書にはありません) 第14回・第15回 総復習、まとめなど

評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 定期試験 : 60% (2) 平常点 : 40% (「平常点」とは定期試験以外のテスト、課題、授業への参加度。

詳細は「内容」を参照してください。)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書)Robert Hickling、大崎さつき『English Upload』(金星堂、1900円)(フジシヨップ扱い)その他、プリント。

(辞書)今お持ちの辞書を第一回の授業から持って来てください。

(推薦書)授業で適宜紹介します。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Kクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目を必ず履修して下さい。外国語I(英語)は英語発信・受信するにあいに必要となる英語の構造知識(文法・語法)を整理、復習します。さらに同時に、英語の総合力のために語彙力、読解力に加え、英文を書く力と聴き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。

1. Introduction (導入説明)
2. The Road Ahead (動詞: be動詞と一般動詞)
3. Running with the Olympic Flame (疑問文)
4. Walk Your Way to the Figure You Want (名詞や冠詞)
5. English in Singaporean Culture (代名詞)
6. Nature's Way (進行形)
7. The Monkeys Who Made a Dictionary (助動詞)
8. Cloning (形容詞と副詞)
9. Nonverbal Communication(比較)
10. Pushing an Elephant Up the Stairs (不定詞、分詞、動名詞)
11. True Love (命令)
12. Henri's Windows (受動態)
13. Pet Therapy (完了表現)
14. Small Things with Great Love(前置詞や接続詞)
15. まとめ

16. Introduction (導入説明)
17. Knowledge and Comprehension
18. language: Spoken and Written
19. Information and Experience
20. Between Eye and Brain
21. Bottlenecks of Memory
22. Letter Identification
23. Word Identification
24. The Identification of Meaning
25. Learning about the World
26. How to use Written language
27. How to read Novels
28. Reading, Writing, Thinking
29. How to memorize Words
30. まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期・後期試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

森田勝之Reading Solutions 出版社提供プリント版（授業で渡します）

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Lクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ~ (英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は、「外国語 (英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目(英語)を必ず履修してください。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力を養成します。

外国語 (英語)では、入学時のプレースメントテストにより2レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身につけるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習、復習を欠かさず行ってください。

- ・文の基本要素
- ・be動詞(平叙文、否定文、疑問文)
- ・一般動詞(平叙文、否定文、疑問文)
- ・wh疑問文
- ・名詞、冠詞
- ・代名詞
- ・進行形(平叙文、否定文、疑問文)
- ・助動詞
- ・形容詞、副詞
- ・比較
- ・不定詞
- ・分詞
- ・動名詞
- ・命令文
- ・受動態
- ・完了形
- ・関係代名詞
- ・一般疑問文
- ・前置詞
- ・接続詞

評価

以下の割合で点数化し、総合成績で60点以上を合格とします。合格点に満たなくても、期末試験の再試験は実施しません。インフルエンザなど出席停止となる病気への罹患、忌引きといった特別な理由があつて期末試験を受験できなかった場合にのみ、追試験を実施します。なお、期末試験前に4回を超えて欠席した場合には、期末試験の受験資格を失います。

(1)前期末・後期末試験：60%

(2)平常点：40%（課題20%、授業への取り組み20%）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：本田吉彦・土屋武久 『College Grammar Pathfinder（基本文法から始める大学英語）』（金星堂）、1,900円

副教材：角岡賢一 『The Workbook for Basic Grammar（コンパクト基礎文法復習ドリル）』（松柏社）、850円

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Mクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格)(1)この科目は、2010年度以前に入学した「英語IB(講読)」再履修者用科目で、3レベルのうちの中級クラスです。各自のクラスレベルに従って登録してください。新カリキュラム「外国語I(英語)」と同時開講です。

(2)この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目(英語)を必ず履修して下さい。

(科目の概要)英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

(学修目標)入学時のプレイメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

日常の様々な場面で使いそうな会話を練習をしたり、ヘレン・ケラーの伝記や地図の歴史など、面白い読み物を楽しみながら、文法事項を一通り復習し、語彙を増やし、英語力をさらに高めていけるような教科書を使いますから、楽しく勉強できると思います。

(1)授業内容が理解できていればできるような練習問題などを、原則としてほぼ毎回行い、提出してもらいます。復習をしていないといけません。(2)半期で1回から3回程度(様子を見て回数等は決めます)、知識の定着のためのテストを行う予定です。その場合は事前に予告します。(3)課題も出します。

以上(1)(2)(3)と授業への参加度が平常点(40%)となります。定期試験(60%)も行い、返却して解説します。

(授業進行予定)(後期)

第1回 オリエンテーション (授業進行予定は変更の可能性もあります。オリエンテーションで詳しいこととお話します。また以下の授業進行予定のように、教科書は順番通りに進めるとは限りません。/ 前期の復習 第2回 Unit 11(形容詞・副詞) 第3回 Unit 14(比較) 第4回 Review 3 第5回 Unit 5(能動態・受動態) 第6回 Unit 6(動名詞・分詞) 第7回 Unit 7(不定詞) 第8回 Review 2 第9回 Unit 13(接続詞) 第10回 Unit 15(関係代名詞・関係副詞)(1) 第11回 Unit 15 (2) 第12回 Unit 16(仮定法) 第13回 Review 4 第14回・第15回 総復習、まとめなど

評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 定期試験：60%(2) 平常点：40% (「平常点」とは定期試験以外のテスト、課題、授業への参加度。
詳細は「内容」を参照してください。)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書) 芝垣 茂、Nan Y. Hiraiwa 他『English Grammar: Onward & Upward始めよう! 文法からコミュニケーションへ』(センゲージラーニング、2100円)(フジシヨップ扱い)その他、プリント。

(辞書)今お持ちの辞書を第一回の授業から持って来てください。

(推薦書)授業で適宜紹介します。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Nクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ~ (英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語 (英語・フランス語・スペイン語・中国語)のうち、この科目を必ず履修して下さい。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

外国語 (英語)では、入学時のプレースメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。リーディングの文章は宿題として必ず単語の意味を確認し、和訳してることが求められます。授業には必ず辞書を持参すること。

- ・現在完了形 ・受動態 ・比較 ・助動詞2 ・動名詞 ・to不定詞 ・接続詞
- ・後期のまとめ

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期・後期試験： 60%
- (2) 平常点： 40% (単語テスト(毎週)、文法事項の小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

《テキスト》 角山照彦他著 『Let's Read Aloud & Learn English! 音読で始める基礎英語』(成美堂)

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Pクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ~ (英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語 (英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目を必ず履修して下さい。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

基礎英語 では、入学時のプレースメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この上級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。

1. 文の基本要素 2. be動詞 (平叙文・否定文・疑問文) 3. 一般動詞 (平叙文・否定文・疑問文)
4. wh疑問文 5. 名詞・冠詞 6. 代名詞 7. 進行形 (平叙文・否定文・疑問文) 8. 助動詞
9. 形容詞・副詞 10. 比較 11. 命令文 12. 接続詞 13. 関係代名詞 14. 接続詞 15. 比較
16. 不定詞 17. 分詞 18. 動名詞 19. 命令文 20. 受動態 21. 完了形 22. 関係代名詞 23. 疑問文
24. 前置詞 25. 接続詞

また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

上記にあげた文法項目を、指定の教科書のユニットに沿って、次のスケジュールで学習します。

- 第1週 ガイダンス 第2週 Unit13 第3週 Unit14 第4週 Unit14(2) 第5週 Unit15
 第6週 Unit16 第7週 Unit17(1) 第8週 Unit17(2) 第9週 Unit18(1) 第10週 Unit18(2)
 第11週 Unit19(1) 第12週 Unit19(2) 第13週 Unit20 第14週 総復習(1) 第15週 総復習(2)

評価

以下の割合で点数化し、60パーセント以上を合格とします。

(1) 前期・後期試験：60パーセント

(2) 平常点： 40 パーセント（単語テスト[毎週]、小テスト、予習、課題提出）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】小中秀彦著 『Life with Snoopy スヌーピーと学ぶライティングとリスニング』南雲堂

【参考図書・辞書等】 授業で適宜紹介します。

| | | | |
|---------|--|---------|-------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Qクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では英文を正確に読み取る練習を行います。その際、単語や熟語をの知識も重要ですが、英文の構造を把握する力が不可欠です。前期は、構造を読み解くための基本的な知識を学び、辞書を引けば大筋の内容がわかることを目指します。後期は、その知識を利用してたくさんの英文を読むことに慣れたいと思います。

内容

英語で書かれた、日本人にも馴染みのある物語を読み進めていきます。随時、英文構造の理解に必要な補助的なプリントを配布します。授業でおおまかな訳が発表できるよう、しっかり予習してくることを望みます。

第1週：ガイダンス

第2週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第3週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第4週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第5週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第6週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第7週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第8週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第9週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第10週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第11週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第12週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト；構文プリント

第13週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント

第14週：テキストの精読 および資料による内容確認；構文プリント 確認テスト

第15週：まとめ

評価

参加態度 40%

定期試験 60%

(60点以上を合格とします。)

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

プリントを適宜配布します。

| | | | |
|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | | ク ラ ス | 2Rクラス |
| 開 講 期 | | 必修・選択の別 | |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ~ (英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語 (英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目を必ず履修して下さい。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

外国語 (英語)では、入学時のプレースメントテストにより2レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この上級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。リーディングの文章は宿題として必ず単語の意味を確認し、和訳してることが求められます。授業には必ず辞書を持参すること。

- ・命令文 ・接続詞 ・不定詞 ・動名詞 ・受動態 ・完了形 ・分詞 ・関係代名詞
- ・後期のまとめ

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期・後期試験： 60%
- (2) 平常点： 40% (単語テスト(毎週)、文法事項の小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

《テキスト》 佐藤哲三、愛甲ゆかり著 『English Primer Revised Edition
大学生の英語入門 改訂新版 』 (南雲堂)

| | | | |
|---------|-------------------|---------|-------------|
| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
| 担当教員名 | 宮本 正治 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選必, 選択, 必修* |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

外国語 をふまえて、この授業では英文をさらに正確に読み取る練習を行います。その際、単語や熟語をの知識も重要ですが、英文の構造を把握する力が不可欠です。前期は、構造を読み解くための基本的な知識を復習しながら、重要な文法事項を学びます。辞書を引けば英文が正確にわかることを目指します。

内容

英語で書かれた、日本人にも馴染みのある物語を読み進めていきます。随時、英文構造の理解に必要な補助的なプリントを配布します。授業でおおまかな訳が発表できるよう、しっかり予習してくることを望みます。

第1週：ガイダンス

第2週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント

第3週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント

第4週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント 確認テスト；文法プリント

第5週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント

第6週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント 確認テスト；文法プリント

第7週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント

第8週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント 確認テスト；文法プリント

第9週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント

第10週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント 確認テスト；文法プリント

第11週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント

第12週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント 確認テスト；文法プリント

第13週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント

第14週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント 確認テスト

第15週：まとめ

評価

参加態度 40%

定期試験 60%

(60点以上を合格とします。)

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

プリントを適宜配布します。

| | | | |
|---------|-------------------|---------|-------------|
| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
| 担当教員名 | 宮本 正治 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択, 選必, 必修* |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

外国語 をふまえて、この授業では英文をさらに正確に読み取る練習を行います。その際、単語や熟語をの知識も重要ですが、英文の構造を把握する力が不可欠です。後期は、前期で学んだことを利用してたくさんの英文を読むことに慣れたいと思います。

内容

英語で書かれた、日本人にも馴染みのある物語を読み進めていきます。随時、英文構造の理解に必要な補助的なプリントを配布します。授業でおおまかな訳が発表できるよう、しっかり予習してくることを望みます。

第1週：ガイダンス

第2週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント

第3週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント

第4週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント 確認テスト；文法プリント

第5週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント

第6週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント 確認テスト；文法プリント

第7週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント

第8週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント 確認テスト；文法プリント

第9週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント

第10週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント 確認テスト；文法プリント

第11週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント

第12週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント 確認テスト；文法プリント

第13週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント

第14週：テキストの精読 および資料による内容確認；文法プリント 確認テスト

第15週：まとめ

評価

参加態度 40%

定期試験 60%

(60点以上を合格とします。)

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

プリントを適宜配布します。

| | | | |
|---------|---|---------|-------------|
| 科目名 | 英語 A (英会話) | | |
| 担当教員名 | アリス スウェンソン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修*, 選択, 選必 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

The goal of this class is the improvement of the student's speaking and listening level. By improving one's English fluency, the chances of success in travel and work will improve.

内容

In this class students concentrate on listening and speaking. Role plays, short speeches, pronunciation drills, and communication gap exercises are utilized.

Week One to Three- Topics that are close to the students lives, both school and family will be discussed.

Week Four to Six- Expanding topics to discuss broader issues is the goal. Students will learn to give opinions, explanations, and ask questions.

Week Seven to Nine- Oral practice continues with speaking tests in groups, feedback from peers and teacher, and building vocabulary for a variety of topics.

Week Ten-fifteen - Students will continue to work on speaking with a variety of activities such as conducting surveys and giving summaries of short stories. The last few weeks will concentrate on speaking about new topics in small groups.

評価

Students are evaluated on participation (30%) and homework (30%), tests and quizzes (40%),

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

"Topic Talk" by David Martin, EFL Press

| | | | |
|---------|---|---------|-------------|
| 科目名 | 英語 A (英会話) | | |
| 担当教員名 | アリス スウェンソン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 1Bクラス |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選必, 必修*, 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

The goal of this class is the improvement of the student's speaking and listening level. By improving one's English fluency, the chances of success in travel and work will improve.

内容

In this class students concentrate on listening and speaking. Role plays, short speeches, pronunciation drills, and communication gap exercises are utilized.

Week One to Three- Topics that are close to the students lives, both school and family will be discussed.

Week Four to Six- Expanding topics to discuss broader issues is the goal. Students will learn to give opinions, explanations, and ask questions.

Week Seven to Nine- Oral practice continues with speaking tests in groups, feedback from peers and teacher, and building vocabulary for a variety of topics.

Week Ten-fifteen - Students will continue to work on speaking with a variety of activities such as conducting surveys and giving summaries of short stories. The last few weeks will concentrate on speaking about new topics in small groups.

評価

Students are evaluated on participation (30%) and homework (30%), tests and quizzes (40%),

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

"Topic Talk" by David Martin, EFL Press

| | | | |
|---------|---|---------|-------------|
| 科目名 | 英語 A (英会話) | | |
| 担当教員名 | アリス スウェンソン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 10クラス |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選必, 選択, 必修* |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

The goal of this class is the improvement of the student's speaking and listening level. By improving one's English fluency, the chances of success in travel and work will improve.

内容

In this class students concentrate on listening and speaking. Role plays, short speeches, pronunciation drills, and communication gap exercises are utilized.

Week One to Three- Topics that are close to the students lives, both school and family will be discussed.

Week Four to Six- Expanding topics to discuss broader issues is the goal. Students will learn to give opinions, explanations, and ask questions.

Week Seven to Nine- Oral practice continues with speaking tests in groups, feedback from peers and teacher, and building vocabulary for a variety of topics.

Week Ten-fifteen - Students will continue to work on speaking with a variety of activities such as conducting surveys and giving summaries of short stories. The last few weeks will concentrate on speaking about new topics in small groups.

評価

Students are evaluated on participation (30%) and homework (30%), tests and quizzes (40%),

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

"Topic Talk" by David Martin, EFL Press

| | | | |
|---------|---|---------|-------------|
| 科目名 | 英語 B (英会話) | | |
| 担当教員名 | アリス スウェンソン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修*, 選必, 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

The goal of this class is the improvement of the student's speaking and listening level. By improving one's English fluency, the chances of success in travel and work will improve.

内容

In this class students concentrate on listening and speaking. Role plays, short speeches, pronunciation drills, and communication gap exercises are utilized.

Week One to Three- Topics that are close to the students lives, both school and family will be discussed.

Week Four to Six- Expanding topics to discuss broader issues is the goal. Students will learn to give opinions, explanations, and ask questions.

Week Seven to Nine- Oral practice continues with speaking tests in groups, feedback from peers and teacher, and building vocabulary for a variety of topics.

Week Ten-fifteen - Students will continue to work on speaking with a variety of activities such as conducting surveys and giving summaries of short stories. The last few weeks will concentrate on speaking about new topics in small groups.

評価

Students are evaluated on participation (30%) and homework (30%), tests and quizzes (40%),

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

"Topic Talk" by David Martin, EFL Press

| | | | |
|---------|---|---------|-------------|
| 科目名 | 英語 B (英会話) | | |
| 担当教員名 | アリス スウェンソン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Bクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必, 必修*, 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

The goal of this class is the improvement of the student's speaking and listening level. By improving one's English fluency, the chances of success in travel and work will improve.

内容

In this class students concentrate on listening and speaking. Role plays, short speeches, pronunciation drills, and communication gap exercises are utilized.

Week One to Three- Topics that are close to the students lives, both school and family will be discussed.

Week Four to Six- Expanding topics to discuss broader issues is the goal. Students will learn to give opinions, explanations, and ask questions.

Week Seven to Nine- Oral practice continues with speaking tests in groups, feedback from peers and teacher, and building vocabulary for a variety of topics.

Week Ten-fifteen - Students will continue to work on speaking with a variety of activities such as conducting surveys and giving summaries of short stories. The last few weeks will concentrate on speaking about new topics in small groups.

評価

Students are evaluated on participation (30%) and homework (30%), tests and quizzes (40%),

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

"Topic Talk" by David Martin, EFL Press

| | | | |
|---------|---|---------|-------------|
| 科目名 | 英語 B (英会話) | | |
| 担当教員名 | アリス スウェンソン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Cクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必, 必修*, 選択 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

The goal of this class is the improvement of the student's speaking and listening level. By improving one's English fluency, the chances of success in travel and work will improve.

内容

In this class students concentrate on listening and speaking. Role plays, short speeches, pronunciation drills, and communication gap exercises are utilized.

Week One to Three- Topics that are close to the students lives, both school and family will be discussed.

Week Four to Six- Expanding topics to discuss broader issues is the goal. Students will learn to give opinions, explanations, and ask questions.

Week Seven to Nine- Oral practice continues with speaking tests in groups, feedback from peers and teacher, and building vocabulary for a variety of topics.

Week Ten-fifteen - Students will continue to work on speaking with a variety of activities such as conducting surveys and giving summaries of short stories. The last few weeks will concentrate on speaking about new topics in small groups.

評価

Students are evaluated on participation (30%) and homework (30%), tests and quizzes (40%),

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

"Topic Talk" by David Martin, EFL Press

| | | | |
|---------|-------------------|---------|--------|
| 科目名 | 英語 A (時事英語) | | |
| 担当教員名 | 宮本 正治 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部 (H) - 共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | |
| 開 講 期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択, 選必 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 養護教諭一種免許状 | | |

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

現在では、情報の多くが英語でやりとりされています。

この授業では、英字新聞やそのホームページに頻出する企業に焦点を当て、グローバル化した現代社会を読み解くための基本的な知識を英語で学びます。

必要に応じて、実際の英字新聞やホームページを閲覧します。

辞書を片手に、やさしい英字新聞が読めるようになること、および簡単なリスニングに慣れることが目標です。

選択科目ですので、以上のような内容に興味があり、自発的に情報を収集し、考える態度が望まれます。

内容

テキストには、日本でも知られている15のアメリカ企業を題材としたエッセイを使用します。

グローバル化した現代世界の様々な出来事や問題に対する知識、関心を深めながら読み進めていきます。

授業では、毎週1つの企業について読み、内容についてのリスニングを行います。

また、その企業について受講者各自が調査した内容を発表してもらう予定です。

第1週：ガイダンス

第2週：Unit 1: The Dodgers

第3週：Unit 2: Pepsi-Cola

第4週：Unit 3: IBM

第5週：Unit 4: Oreo

第6週：Unit 5: Hyatt

第7週：Unit 6: Yahoo!

第8週：Unit 7: The Chicago Bulls

第9週：Unit 8: Pizza Hut

第10週：Unit 9 : Starbucks

第11週：Unit 10: Greyhound

第12週：Unit 11: Newsweek

第13週：unit 12: Gap

第14週：unit 13: Walmart

第15週：まとめ

受講者の関心の高いユニットから順次読めるよう調整したいと思います。

評価

参加態度 50%

テスト 50%

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

『アメリカンドリームを継ぎし者たち』

トム・グディア、武末義信著、南雲堂、1600円

| | | | |
|---------|-------------------|---------|--------|
| 科目名 | 英語 B (時事英語) | | |
| 担当教員名 | 佐藤 里野 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択, 選必 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 養護教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、人間生活学部の選択必修科目で、英語での受信力・発信力の基礎となるリーディング・スキルズを養成することを目的としている。

科目の概要

授業では、近年国際的な注目を集めている日本のポップカルチャーに関する文章を取り上げる。各回で、リーディングの基礎となるボキャブラリーや文法事項を扱い、それらの文法知識を、ある程度の長さのある英文解釈に応用する。授業計画には、各回で扱う文法項目を挙げている。

学修目標

英語力養成のために、予習・復習は不可欠である。テキストには事前に目を通し、積極的な態度で授業に参加してほしい。

1. 授業で扱う英文を読み取り、概要を把握することができる。
2. 重要なボキャブラリーを習得する。(毎回単語テストを実施する。)
3. 英語の受信力・発信力養成における国際的な視野の重要性を理解する。

内容

指定の教科書に基づき、以下のスケジュールで授業を行う。

| | |
|----|--------------|
| 1 | イントロダクション |
| 2 | 英語の文型と種類 |
| 3 | 品詞と代名詞 |
| 4 | 関係代名詞 / 関係副詞 |
| 5 | 受動態 |
| 6 | 仮定法(1) |
| 7 | 仮定法(2) |
| 8 | 比較 |
| 9 | 助動詞 |
| 10 | 分詞 |
| 11 | 不定詞 |
| 12 | 総合問題(1) |
| 13 | 総合問題(2) |
| 14 | 総合問題(3) |
| 15 | まとめ |

評価

期末試験（50％）、単語テスト（20％）、平常点[課題提出、授業態度]（30％）により評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合は、再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを配布する。

【参考図書・辞書等】授業で適宜紹介する。

| | | | |
|---------|-------------------|---------|--------|
| 科目名 | 英語 B (時事英語) | | |
| 担当教員名 | 島村 豊博 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部(H)-共通科目 | | |
| 学 年 | 4 | ク ラ ス | 2Bクラス |
| 開 講 期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択, 選必 |
| 授 業 形 態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資 格 関 係 | 保育士資格 / 養護教諭一種免許状 | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は共通科目の選択科目英語 Bで、時事的な諸問題を英語を通して理解できる読解力を、新聞、ネットや雑誌記事をはじめ、社会のあらゆる諸相を扱ったエッセイを読むことで養成します。

科目の概要および 学修目標

エッセイ、時事、評論、自伝などさまざまな分野の中から選ばれた英文を、一字一句おろそかにしない分析的な精読と、文全体の内容や要点を素早くおさえ細部より大意をつかむ速読といった、読む内容によって自在に読書法が変えられる読解力をつけることを狙い、2種類の教材を使います。教室では主として名文と言われるような味わい深い英文の精読を、家庭では速読で多くの英文を読むようにします。

内容

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 Anne Morrow Lindbergh: Gift from the Sea (海からの贈りもの)
- 第3回 Anne Morrow Lindbergh: Gift from the Sea
- 第4回 Jack Canfield and Mar Victor Hansen, eds.:Chicekn Soup for the Soul (こころのちきんすーぷ)
- 第5回 Jack Canfield and Mar Victor Hansen, eds.:Chicekn Soup for the Soul
- 第6回 Helen Keller: The Story of My Life (ヘレン・ケラー自伝)
- 第7回 Helen Keller: The Story of My Life
- 第8回 Anne Sullivan: Miss Sullivan's Letter (サリヴァン先生の手紙)
- 第9回 Anne Sullivan: Miss Sullivan's Letter
- 第10回 Bertrand Russell: The Conquest of Happiness (幸福論)
- 第11回 Bertrand Russell: The Conquest of Happiness
- 第12回 Albert Einstein: Out of My Later Years (アインシュタイン 晩年を想う)
- 第13回 Albert Einstein: Out of My Later Years
- 第14回 Albert Einstein: Out of My Later Years
- 第15回 まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

定期試験 : 60% 平常点 : 40% (「平常点」とは定期試験以外のテスト、課題、授業への参加度。)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 : プリントを配布します。

推薦書 : 「こころの音読」 齊藤兆史著、講談社インターナショナル